

宮代町
若者の生活と意識に関する
アンケート調査
報告書

令和6年7月

宮代町

目次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査方法と回収状況	3
3. 調査項目	3
4. 調査結果を見る上での注意事項	3
第2章 調査結果の詳細	5
1. 基本属性	7
(1) 性別	7
(2) 年齢	7
(3) 現在の婚姻状況	7
(4) 将来の結婚願望	8
(5) 同居者	8
(6) 主な生計者	9
(7) 世間一般と比較した暮らし向きの実感	9
(8) 最終通学校	9
(9) 居住地区	10
2. 日頃の生活について	11
(1) 平均的な就寝時刻と起床時刻	11
(2) 朝食の摂取状況	14
(3) 夕食の摂取状況	15
(4) 共食の状況	16
3. 日頃の考え方や意識について	17
(1) 自身のアイデンティティについて	17
(2) 楽しい(充実している)と感じるとき	20
(3) 現在、困っていることや悩んでいること	22
(4) 悩みや心配ごとの相談先	24
(5) こどもや若者に関する政策への意見の聴き入れ	26
(6) 何でも話せる友人の有無	27
(7) 何でも話せる友人	28
(8) 現在の幸福感	29
(9) 現在や過去に社会生活や日常生活を円滑に送る、送れた状況	31
4. 仕事・進路に関することについて	32
(1) 働き方	32
(2) 雇用形態への不安	32
(3) 正社員・正職員としての就職意向	33

(4) 就職や進学のための準備	33
(5) 就業意向	34
(6) 就業意向がない理由	34
(7) 卒業後の希望	34
(8) 働く上で、または仕事を選ぶ際に重視すること	35
(9) 経済的に自立するために必要だと思うこと	37
5. 地域との関わりについて	39
(1) 平日の外出状況	39
(2) 外出を避けている程度	40
(3) 外出を避けるようになった年齢	40
(4) 外出を避けるようになってからの期間	41
(5) 外出を避けるようになったきっかけ	41
(6) 関係機関への相談意向	42
(7) 相談したいと思わない理由	42
(8) 今後、地域社会で参加したい活動	43
6. インターネット・スマートフォンの利用について	45
(1) 学校や仕事以外での携帯電話やスマートフォン等の1日平均使用時間	45
(2) 携帯電話やスマートフォン等の使用目的	46
(3) 携帯電話やスマートフォン等でのインターネット利用時のトラブル	47
(4) トラブルにあった時の相談相手先	47
7. 居場所について	48
(1) 安息の場	48
(2) 孤独感の自覚	52
8. 将来のことについて	54
(1) 宮代町での定住意向	54
(2) 社会貢献への意向	55
(3) 将来への明るい希望の有無	56
9. 自由記述	57
(1) 若者に関する施策でふだん感じていることや意見等	57

第3章 調査票	63
---------	----

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

本調査は、こども基本法に規定される「こども大綱」を勘案し、同法に基づく「宮代町こども計画」を策定するにあたり、基礎的資料として、若者の普段の生活状況や意識等を把握することを目的に実施した。

2. 調査方法と回収状況

調査地域：宮代町全域

調査対象者：町内在住の15歳から29歳の男女

抽出方法：住民基本台帳から無作為抽出

調査方法：郵送によるアンケート調査（Web回答併用）

調査期間：令和6年2月20日（火）～3月13日（水）

<回収状況>

配布数：800票

有効回収数：194票

有効回収率：24.3%

3. 調査項目

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1. 回答者の属性 | 5. 地域との関わりについて |
| 2. 日頃の生活について | 6. インターネット・スマートフォンの利用について |
| 3. 日頃の考え方や意識について | 7. 居場所について |
| 4. 仕事・進路に関することについて | 8. 将来のことについて |

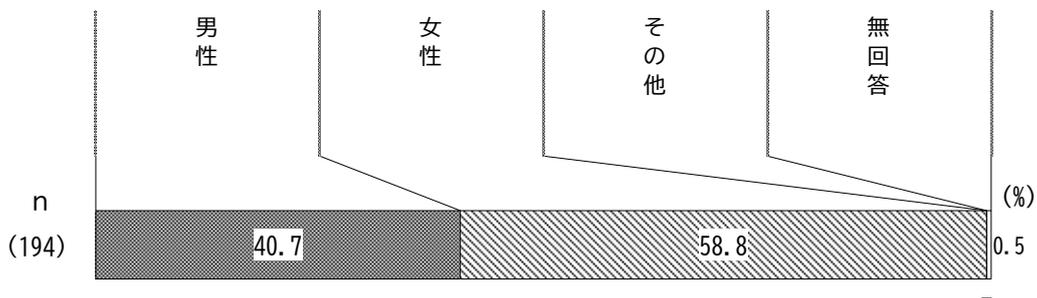
4. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。従って、単数回答（1つだけ選ぶ設問）においても、四捨五入の影響により、足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい設問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

第2章 調査結果の詳細

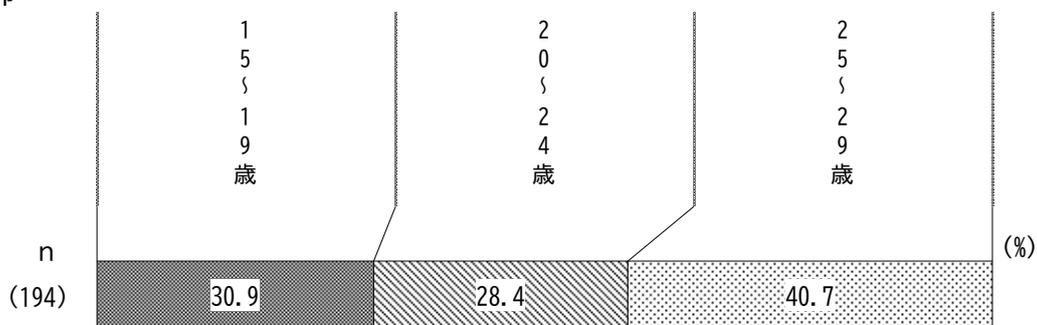
1. 基本属性

(1) 性別



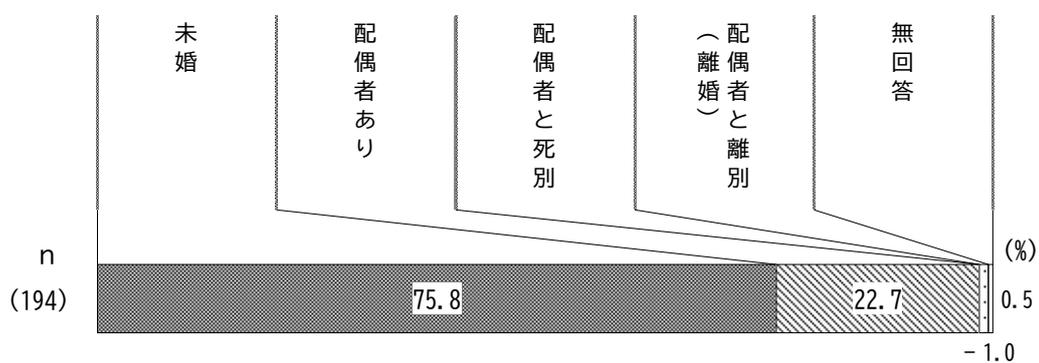
回答者の性別は、「男性」が40.7%、「女性」が58.8%で、「女性」の方が多くなっている。

(2) 年齢



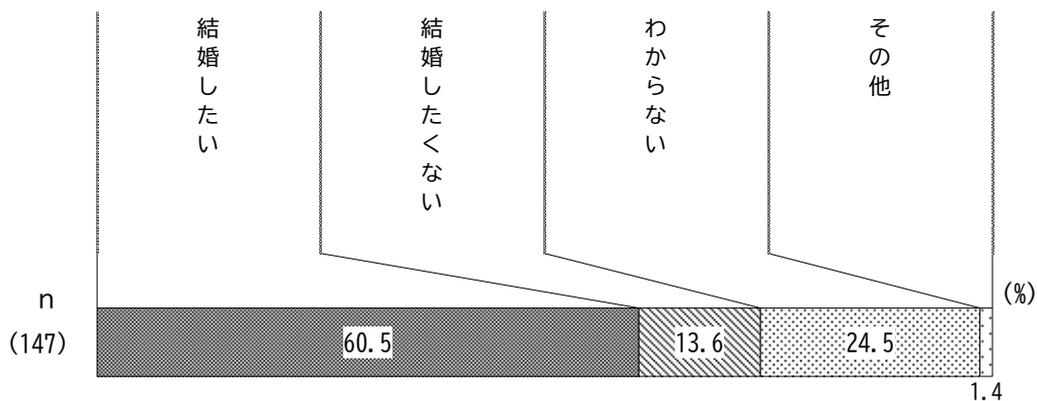
年齢は、「15～19歳」が30.9%、「20～24歳」が28.4%、「25～29歳」が40.7%となっている。

(3) 現在の婚姻状況



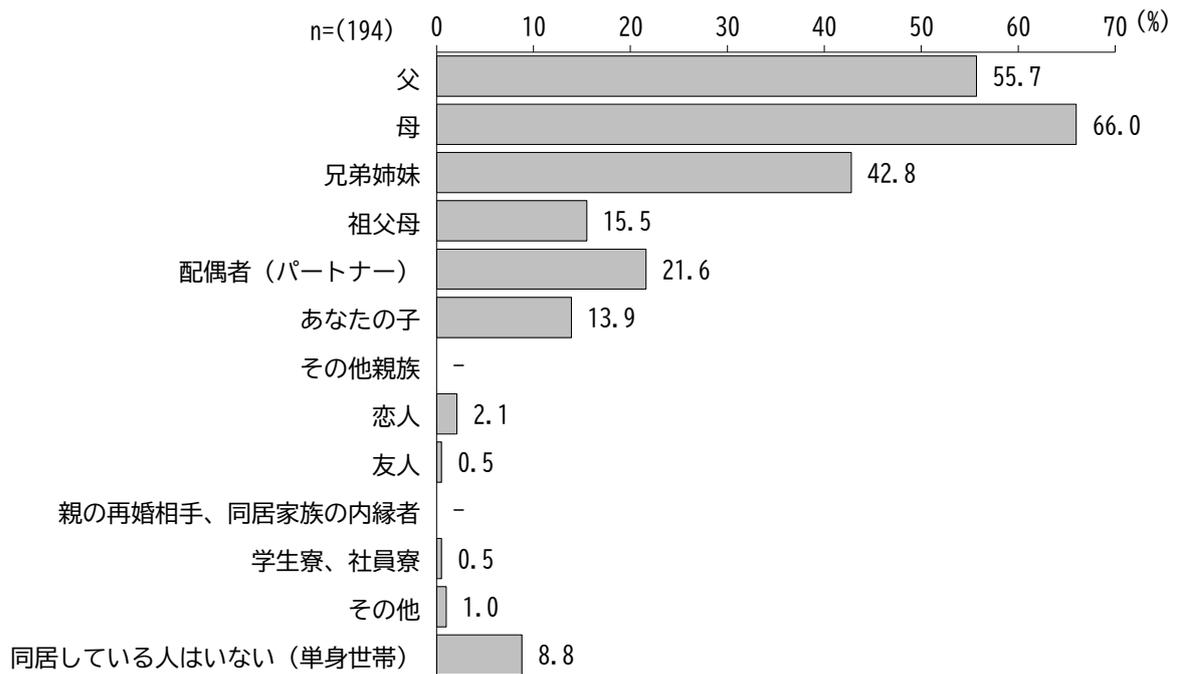
現在の婚姻状況は、「未婚」が75.8%、「配偶者あり」が22.7%となっている。

(4) 将来の結婚願望（※未婚の方）



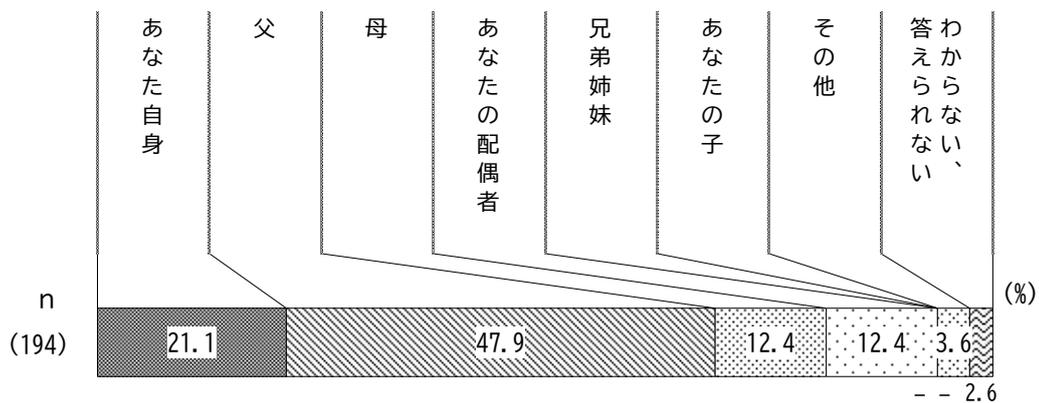
未婚の方の将来の結婚願望は、「結婚したい」が60.5%、「結婚したくない」が13.6%、「わからない」が24.5%となっている。

(5) 同居者（※里親や児童養護施設などで暮らしている方は、「その他」）



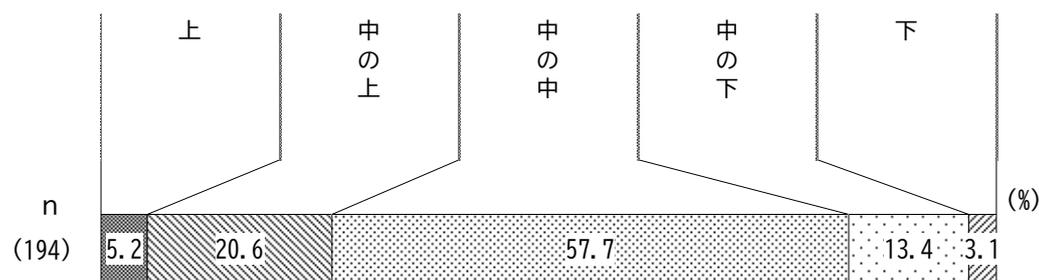
同居者は、「母」(66.0%)と「父」(55.7%)が高く、次いで、「兄弟姉妹」が42.8%、「配偶者 (パートナー)」が21.6%となっている。

(6) 主な生計者



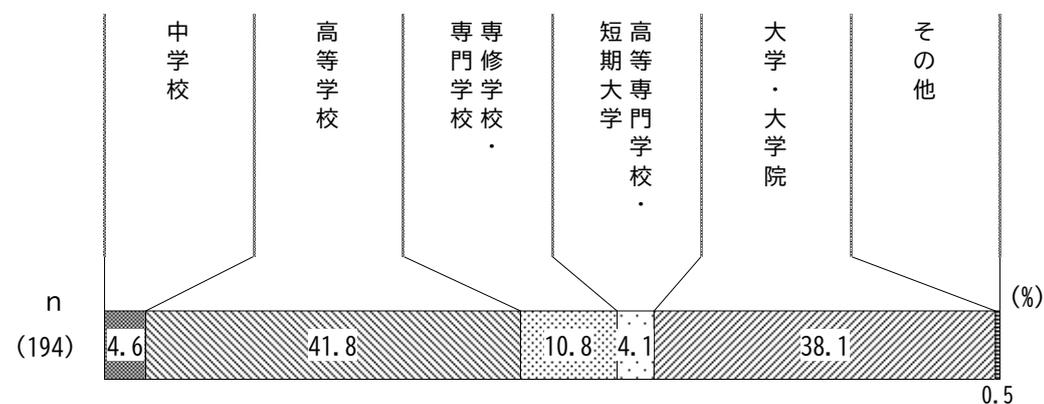
主な生計者は、「父」が47.9%で最も高く、次いで、「本人（あなた自身）」が21.1%、「母」と「配偶者（あなたの配偶者）」がともに12.4%となっている。

(7) 世間一般と比較した暮らし向きの実感



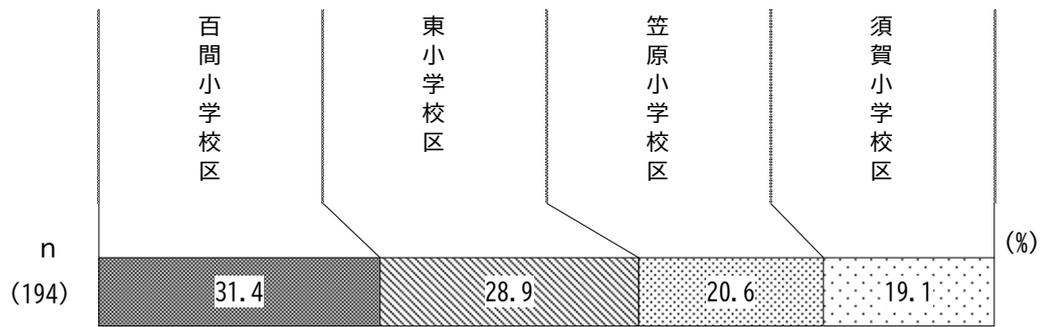
世間一般と比較した暮らし向きの実感としては、「中の中」が57.7%と半数を超えている。「上」は5.2%、「中の上」は20.6%で、両者をあわせた『暮らし向き（上）』は25.8%、一方、「中の下」は13.4%、「下」は3.1%で、両者をあわせた『暮らし向き（下）』は16.5%となっている。

(8) 最終通学校（※在学中の場合は現在の在 schools）

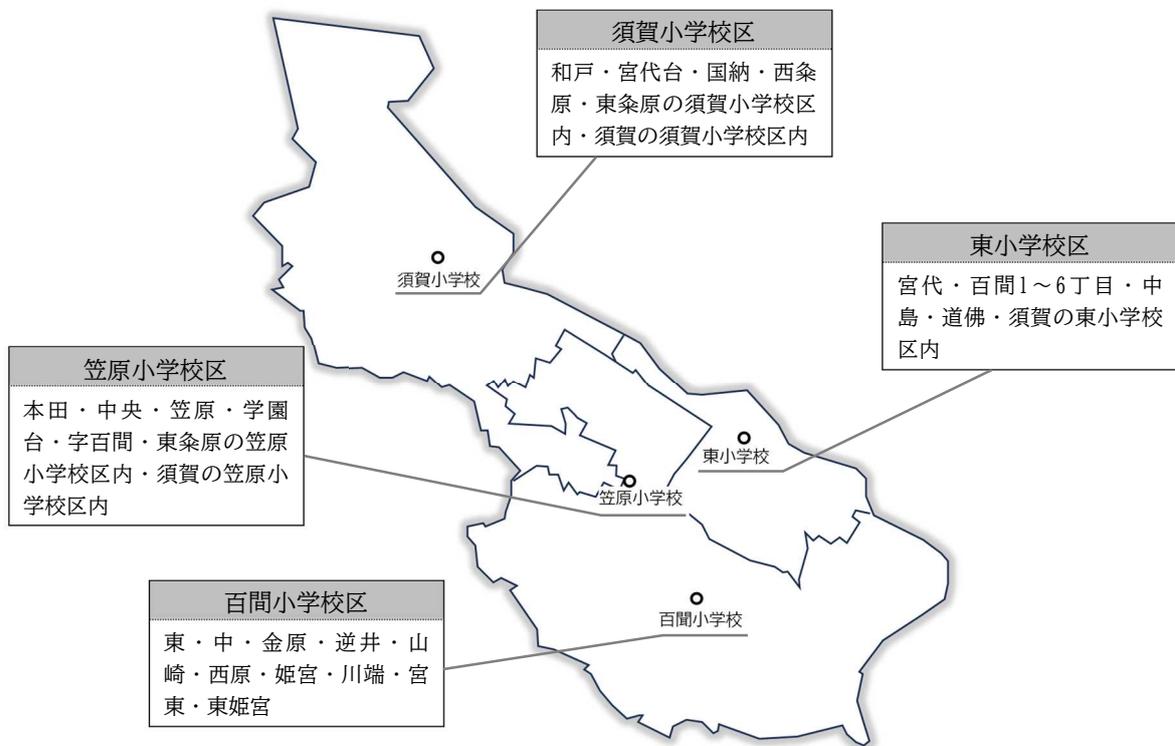


中退を含む最後に卒業した学校は、「高等学校」が41.8%、「大学・大学院」が38.1%となっている。

(9) 居住地区 (※小学校区)



居住地区は、「百間小学校区」が31.4%、「東小学校区」が28.9%、「笠原小学校区」が20.6%、「須賀小学校区」が19.1%となっている。

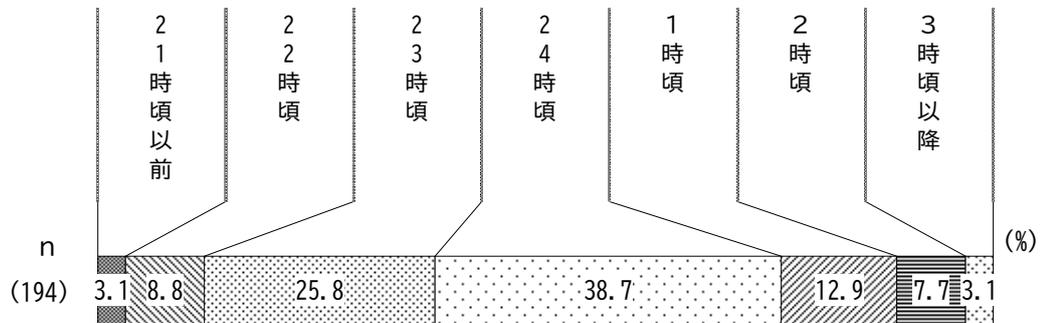


2. 日頃の生活について

(1) 平均的な就寝時刻と起床時刻

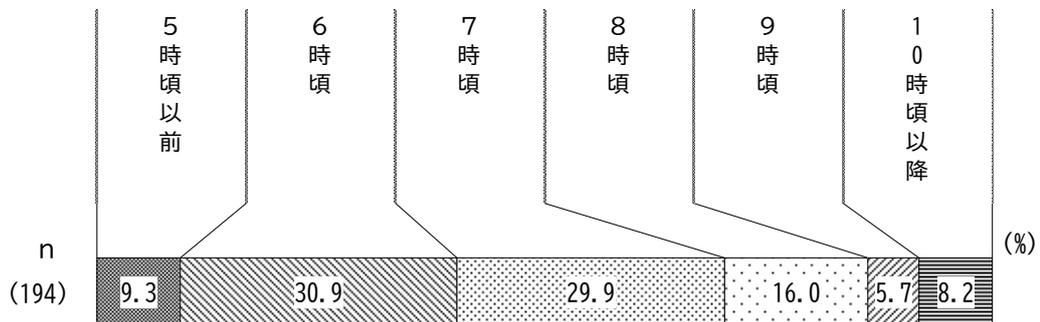
問1 平均的な就寝時刻と起床時刻を記入してください。(24時間表記)

〈 就寝時刻 〉



平均的な就寝時刻は、「24時頃」が38.7%と最も高く、「23時頃」が25.8%となっている。

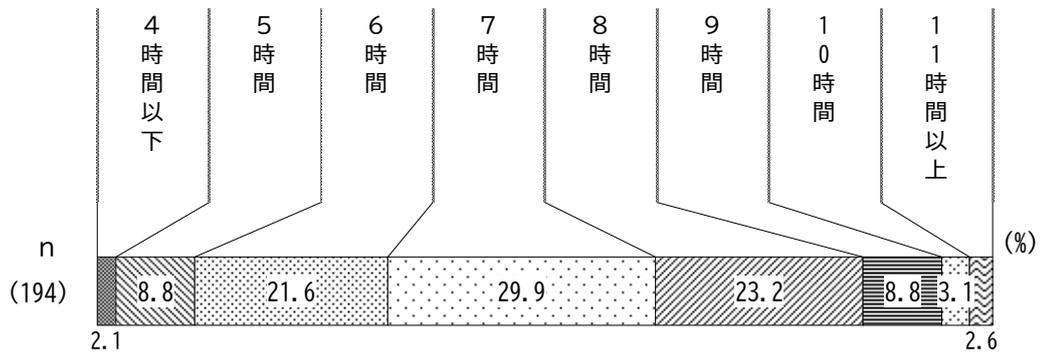
〈 起床時刻 〉



起床時刻は、「6時頃」(30.9%)、「7時頃」(29.9%)が3割前後となっている。

第2章 調査結果の詳細

〈 睡眠時間 〉 ※就寝時刻と起床時刻から算出

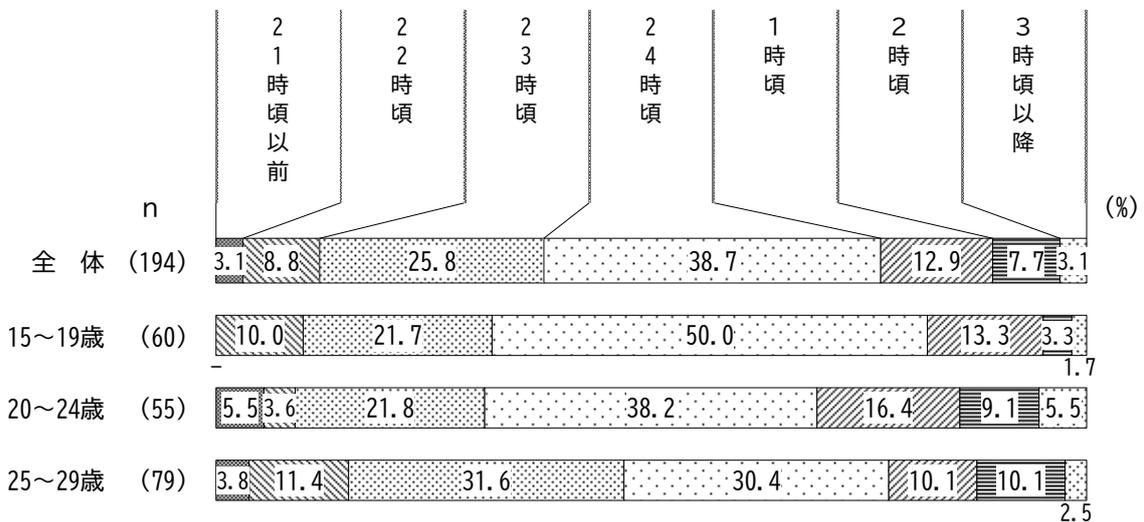


就寝時刻と起床時刻から算出した平均的な睡眠時間をみると、「7時間」が29.9%、「8時間」が23.2%、「6時間」が21.6%となっている。

睡眠時間の目安〈参考 「健康づくりのための睡眠ガイド2023」厚生労働省〉

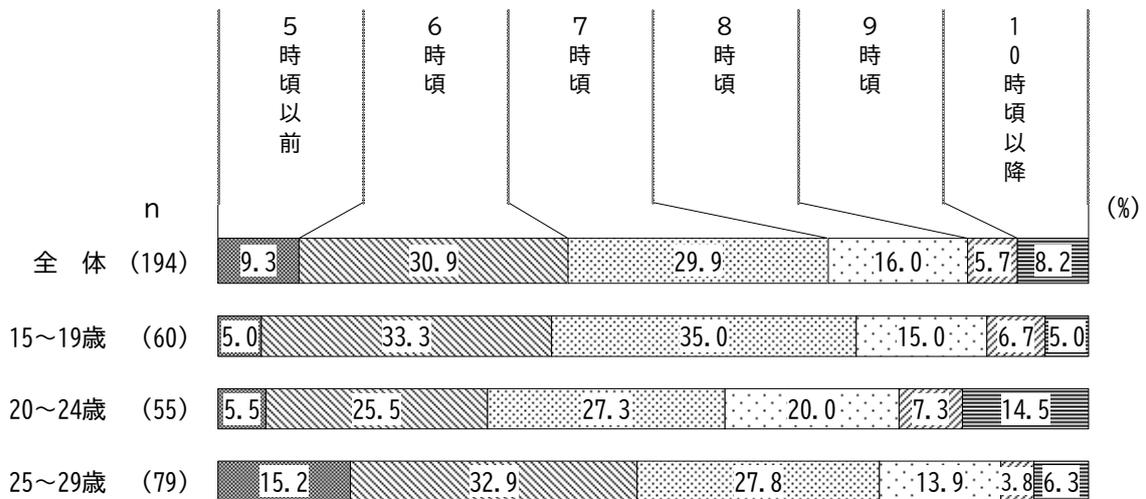
- ▽小学生：9時間から12時間
- ▽中学生・高校生：8時間から10時間
- ▽成人：6時間以上
- ▽高齢者：寝床にいる時間が8時間以上にならないこと

〈 年齢別／就寝時刻 〉



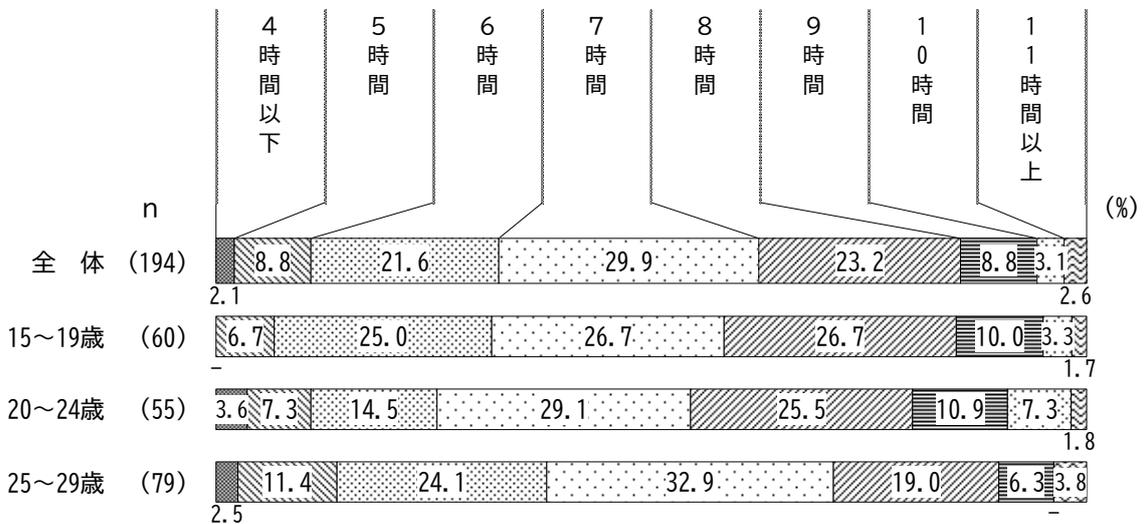
年齢別にみると、就寝時刻が「24時頃」なのは15～19歳では半数、20～24歳と25～29歳では3割台となっている。25～29歳では「23時」も31.6%と他の年齢より高くなっている。

〈 年齢別／起床時刻 〉



年齢別にみると、「6時頃」と「7時頃」の起床時刻は、15~19歳でそれぞれ3割台、20~24歳でそれぞれ2割台、25~29歳では「6時頃」が32.9%、「7時頃」が27.8%となっている。

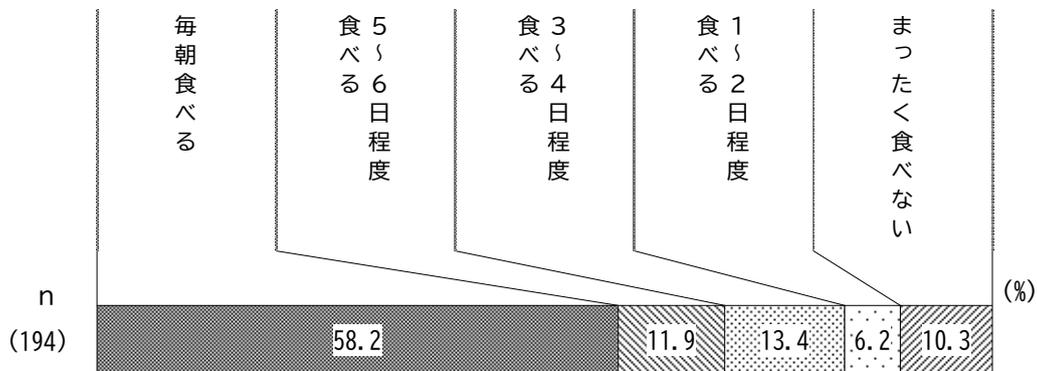
〈 年齢別／睡眠時間 〉



年齢別にみると、平均的な睡眠時間は、いずれの年齢も「7時間」が中心で、年齢が上がるにつれて割合が高くなっている。15~19歳では「6時間」(25.0%)、「7時間」(26.7%)、「8時間」(26.7%)がほぼ同率となっている。20~24歳では「7時間」が29.1%と3割近く、「8時間」が25.5%となっている。25~29歳では「7時間」が32.9%、「6時間」が24.1%となっている。

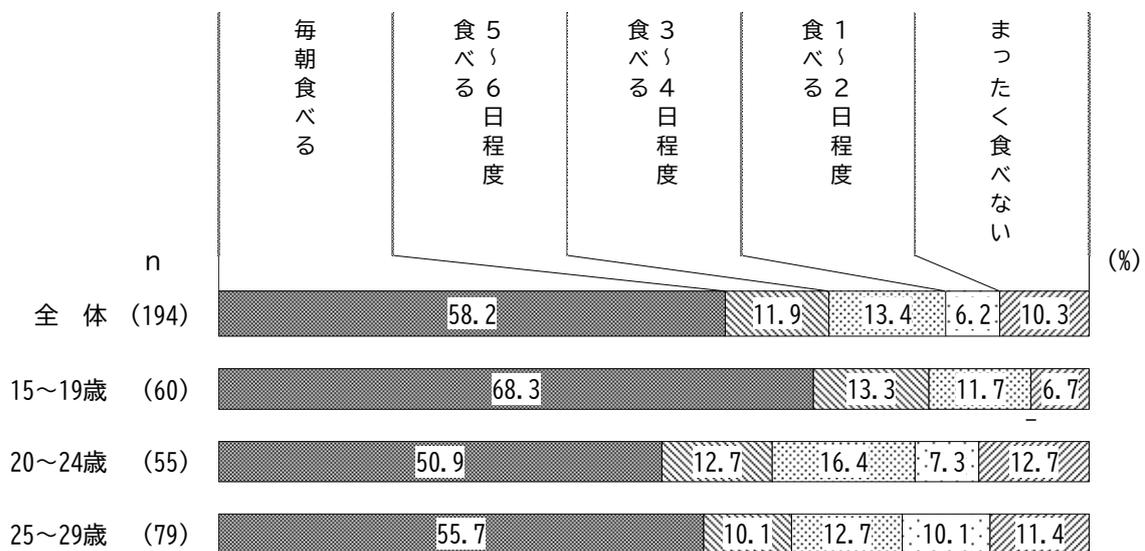
(2) 朝食の摂取状況

問2 朝ごはんを週に何日程度食べていますか。(1つだけ)



週あたりの朝食の摂取状況は、「毎朝食べる」が58.2%、「5～6日程度食べる」が11.9%、「3～4日程度食べる」が13.4%となっている。一方、「まったく食べない」は10.3%となっている。

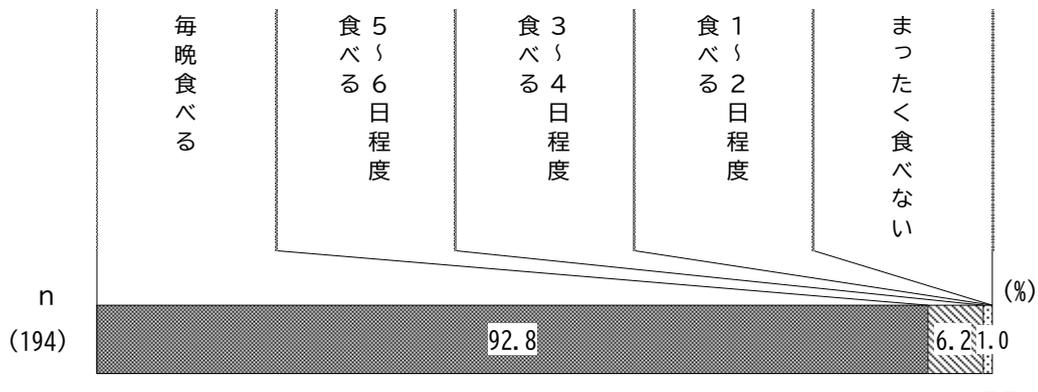
〈 年齢別／朝食の摂取状況 〉



年齢別にみると、いずれの年齢も「毎朝食べる」が半数を超えて最も高く、特に15～19歳では68.3%となっている。「まったく食べない」は20～24歳、25～29歳で1割を超えている。

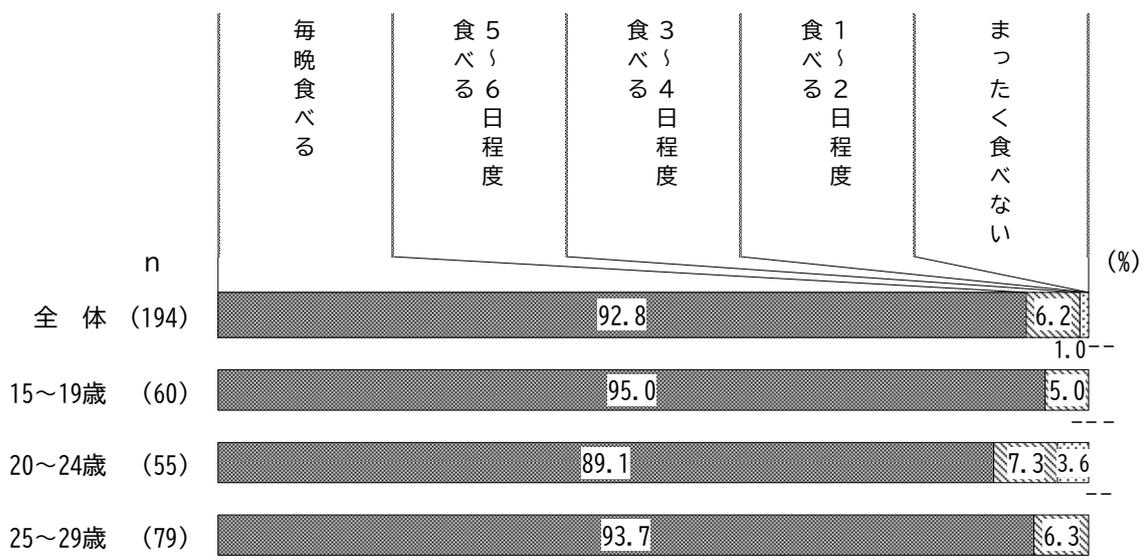
(3) 夕食の摂取状況

問3 晩ごはんを週に何日程度食べていますか。(1つだけ)



週あたり晩ごはんの摂取状況は、「毎晩食べる」が92.8%となっている。一方、「1～2日程度食べる」と「まったく食べない」の回答はなかった。

〈年齢別／夕食の摂取状況〉

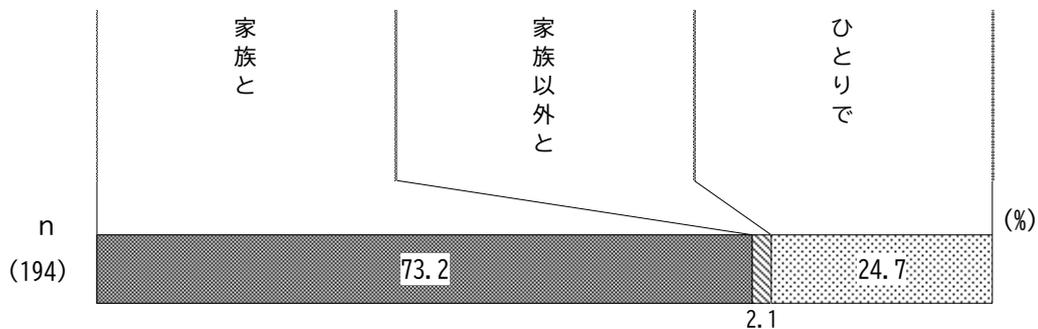


年齢別にみると、いずれの年齢も「毎晩食べる」が最も高く、15～19歳と25～29歳で9割以上となっている。

(4) 共食の状況

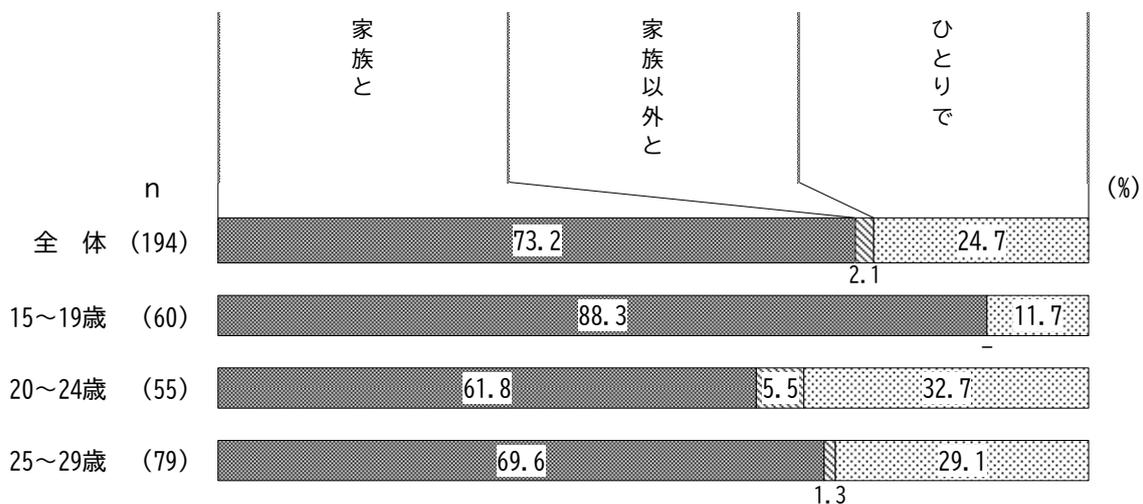
【問3で「毎朝食べる」、「5～6日程度食べる」、「3～4日程度食べる」、「1～2日程度食べる」を選んだ方のみ】

問3-1 主に誰と食べることが多いですか。(1つだけ)



共食する主な人を聞いたところ、「家族と」が73.2%、「家族以外と」が2.1%で、共食をする人は75.3%となっている。一方、栄養バランスの問題等が懸念される孤食（「ひとりで」）は24.7%となっている。

〈 年齢別／共食の状況 〉

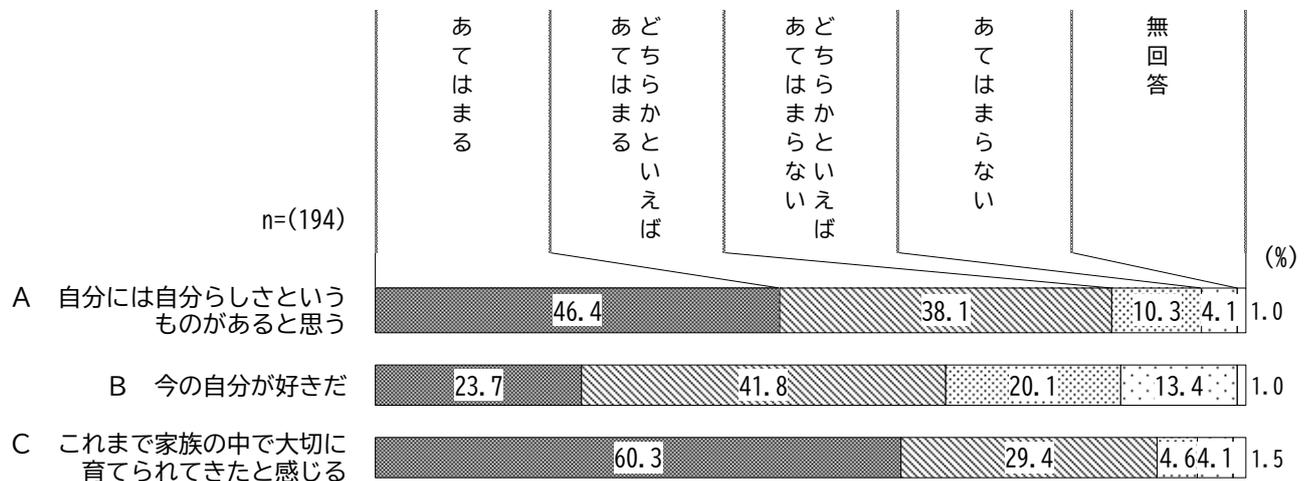


年齢別にみると、いずれの年齢も「家族と」が最も高く、特に15～19歳では88.3%と、他の年齢より高くなっている。一方、「ひとりで」では20～24歳と25～29歳で3割前後となっている。

3. 日頃の考え方や意識について

(1) 自身のアイデンティティについて

問4 次の各項目について、あなた自身にあてはまるものを1つ選んでください。



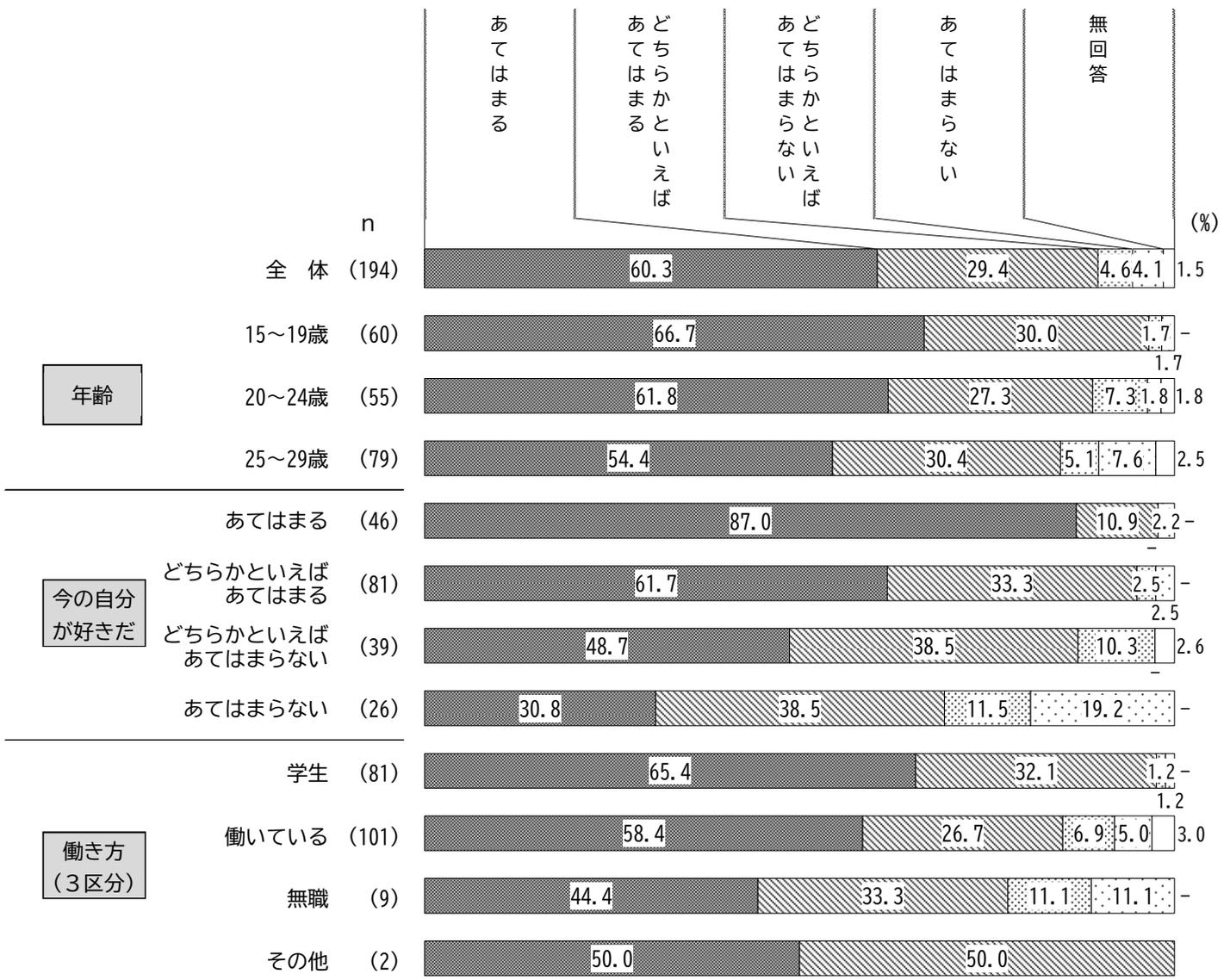
“A 自分には自分らしさというものがあると思う”は、「あてはまる」が46.4%、「どちらかといえばあてはまる」が38.1%で、両者をあわせた『あてはまる』は84.5%となっている。

“B 今の自分が好きだ”は、「あてはまる」が23.7%、「どちらかといえばあてはまる」が41.8%で、両者をあわせた『あてはまる』は65.5%となっている。一方、『あてはまらない』（「どちらかといえばあてはまらない」と「あてはまらない」の計）は33.5%と他の項目より高くなっている。

“C これまで家族の中で大切に育てられてきたと感じる”は、「あてはまる」が60.3%、「どちらかといえばあてはまる」が29.4%で、両者をあわせた『あてはまる』は89.7%となっている。

〈年齢別、今の自分が好きか別、働き方（3区分）別／

“C これまで家族の中で大切に育てられてきたと感じる”〉



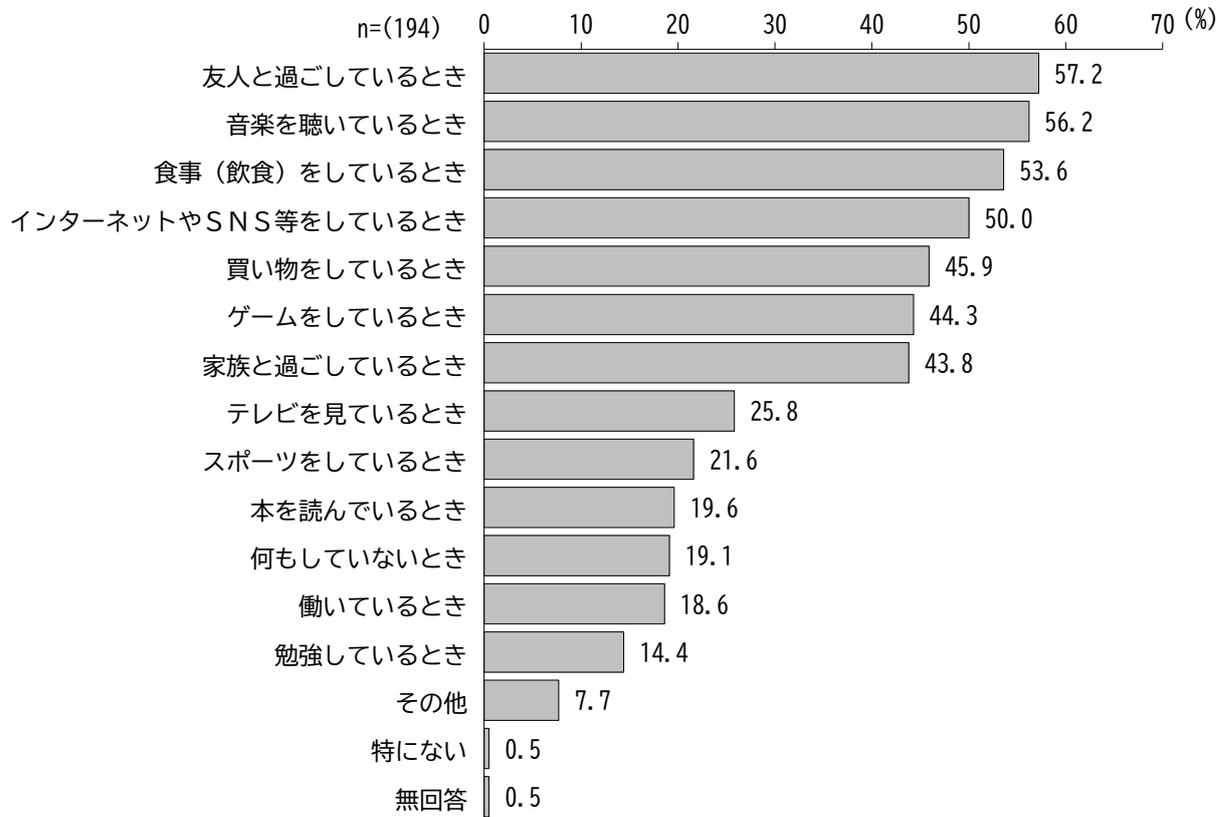
年齢別に“C これまで家族の中で大切に育てられてきたと感じる”をみると、『あてはまる』はいずれも8割以上で、特に15～19歳で96.7%となっている。

今の自分が好きか別にみると、いずれも『あてはまる』の方が『あてはまらない』より高く、自分が好きであるほど割合が高くなり、逆に『あてはまらない』は自分が好きではないほど割合が高くなっている。

働き方（3区分）別にみると、いずれも『あてはまる』の方が『あてはまらない』より高く、特に学生では97.5%となっている。

(2) 楽しい (充実している) と感じる時

問5 今、あなたが楽しい (充実している) と感じるのはどんなときですか。(いくつでも)



今、楽しい (充実している) と感じる時は、「友人と過ごしているとき」(57.2%)、「音楽を聴いているとき」(56.2%)、「食事 (飲食) をしているとき」(53.6%)、「インターネットやSNS等をしているとき」(50.0%) が5割台となっている。これらに「買い物をしているとき」(45.9%)、「ゲームをしているとき」(44.3%)、「家族と過ごしているとき」(43.8%) が4割台で続いている。

〈 性別、年齢別、婚姻状況別、働き方（3区分）別／“楽しい（充実している）と感じるとき” 〉

(%)

		n	友人と過ごしているとき	音楽を聴いているとき	食事（飲食）をしているとき	インターネットやSNS等をしているとき	買い物をしているとき	ゲームをしているとき	家族と過ごしているとき	テレビを見ているとき	スポーツをしているとき	本を読んでいるとき	何もしていないとき	働いているとき
全体		194	57.2	56.2	53.6	50.0	45.9	44.3	43.8	25.8	21.6	19.6	19.1	18.6
性別	男性	79	54.4	54.4	50.6	46.8	38.0	57.0	36.7	19.0	31.6	22.8	17.7	15.2
	女性	114	59.6	57.0	55.3	52.6	51.8	36.0	48.2	29.8	14.9	17.5	20.2	20.2
年齢	15～19歳	60	70.0	76.7	55.0	61.7	45.0	56.7	31.7	26.7	28.3	31.7	25.0	5.0
	20～24歳	55	61.8	60.0	52.7	54.5	47.3	47.3	43.6	27.3	27.3	20.0	16.4	21.8
	25～29歳	79	44.3	38.0	53.2	38.0	45.6	32.9	53.2	24.1	12.7	10.1	16.5	26.6
婚姻状況	未婚	147	63.9	64.6	52.4	55.8	46.3	49.7	33.3	25.9	25.9	23.8	21.8	16.3
	配偶者あり	44	34.1	27.3	59.1	31.8	43.2	29.5	77.3	27.3	6.8	4.5	9.1	27.3
	配偶者と死別	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	配偶者と離別（離婚）	2	50.0	100.0	50.0	50.0	100.0	-	50.0	-	50.0	50.0	50.0	-
働き方（3区分）	学生	81	67.9	72.8	51.9	55.6	46.9	50.6	32.1	24.7	29.6	30.9	25.9	6.2
	働いている	101	49.5	43.6	53.5	47.5	47.5	39.6	52.5	28.7	16.8	10.9	15.8	28.7
	無職	9	55.6	66.7	66.7	44.4	33.3	44.4	55.6	11.1	11.1	22.2	-	-
	その他	2	50.0	-	100.0	-	-	-	50.0	-	-	-	-	100.0

		勉強しているとき	その他	特にない	無回答
全体		14.4	7.7	0.5	0.5
性別	男性	22.8	8.9	-	1.3
	女性	8.8	7.0	0.9	-
年齢	15～19歳	16.7	6.7	-	-
	20～24歳	18.2	12.7	-	-
	25～29歳	10.1	5.1	1.3	1.3
婚姻状況	未婚	17.7	8.8	-	-
	配偶者あり	4.5	2.3	2.3	2.3
	配偶者と死別	-	-	-	-
	配偶者と離別（離婚）	-	-	-	-
働き方（3区分）	学生	21.0	6.2	-	-
	働いている	8.9	9.9	1.0	1.0
	無職	11.1	-	-	-
	その他	50.0	-	-	-

性別にみると、「友人と過ごしているとき」と「音楽を聴いているとき」と「食事（飲食）をしているとき」は、男女とも5割以上となっている。女性では「買い物をしているとき」（51.8%）と「家族と過ごしているとき」（48.2%）と「テレビを見ているとき」（29.8%）が男性を10ポイント以上上回っている。男性では「ゲームをしているとき」（57.0%）が21.0ポイント、「スポーツをしているとき」（31.6%）が女性を16.7ポイント上回っている。

年齢別にみると、「友人と過ごしているとき」と「音楽を聴いているとき」は15～19歳で7割台と高いが、年齢が上がるにつれて割合が低くなっている。これら以外の「インターネットやSNS等をしているとき」、「ゲームをしているとき」、「テレビを見ているとき」、「スポーツをしているとき」、「本を読んでいるとき」など娯楽、趣味に関するものも、年齢が上がるにつれて割合が低くなっている。

第2章 調査結果の詳細

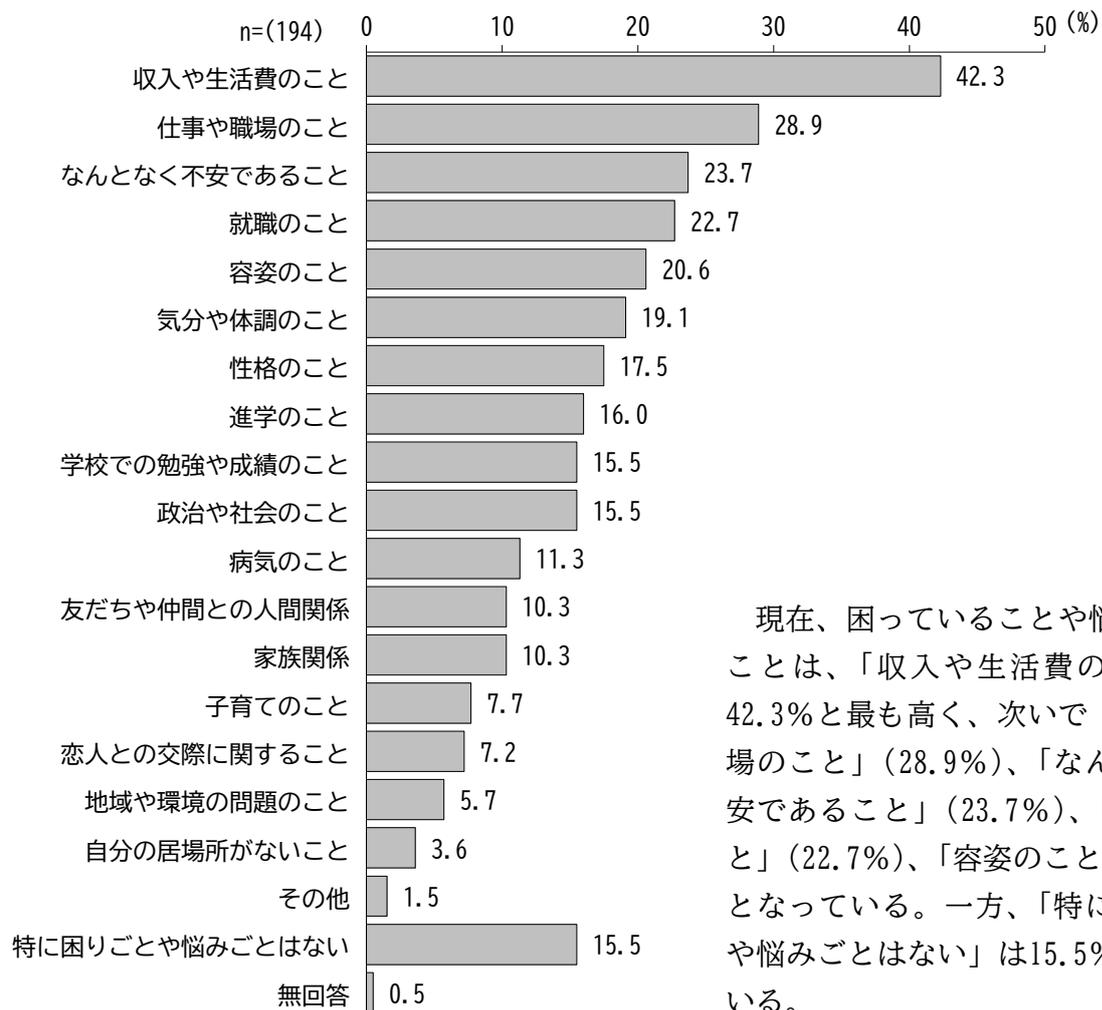
一方、「家族と過ごしているとき」や「働いているとき」など生活や仕事に関するものは、年齢が上がるにつれて割合が高くなっている。

婚姻状況別にみると、未婚では「音楽を聴いているとき」(64.6%)が最も高く、配偶者ありを37.3ポイント上回っている。未婚ではこの他、「友人と過ごしているとき」(63.9%)、「インターネットやSNS等をしているとき」(55.8%)、「ゲームをしているとき」(49.7%)でも20ポイント以上、「スポーツをしているとき」と「本を読んでいるとき」も配偶者ありより19ポイント程度上回っている。配偶者ありでは「家族と過ごしているとき」(77.3%)が最も高く、未婚を44.0ポイント上回っている。

働き方(3区分)別にみると、学生では「音楽を聴いているとき」(72.8%)が29.2ポイント、「本を読んでいるとき」(30.9%)が20.0ポイント、「友人と過ごしているとき」(67.9%)が18.4ポイント働いているを上回っている。反対に、働いているでは、友人や音楽よりも、食事(飲食)や家族、就業の方が充実感が高く、「家族と過ごしているとき」(52.5%)や「働いているとき」(28.7%)では学生を20ポイント以上上回っている。

(3) 現在、困っていることや悩んでいること

問6 あなたは現在、困っていることや悩んでいることがありますか。(いくつでも)



現在、困っていることや悩んでいることは、「収入や生活費のこと」が42.3%と最も高く、次いで「仕事や職場のこと」(28.9%)、「なんとなく不安であること」(23.7%)、「就職のこと」(22.7%)、「容姿のこと」(20.6%)となっている。一方、「特に困りごとや悩みごとはない」は15.5%となっている。

〈 性別、年齢別、婚姻状況別、働き方（3区分）別／“現在、困っていることや悩んでいること” 〉

(%)

		n	収入や生活費のこと	仕事や職場のこと	なんとなく不安であること	就職のこと	容姿のこと	気分や体調のこと	性格のこと	進学のこと	学校での勉強や成績のこと	政治や社会のこと	病気のこと	友達や仲間との人間関係
全体		194	42.3	28.9	23.7	22.7	20.6	19.1	17.5	16.0	15.5	15.5	11.3	10.3
性別	男性	79	43.0	24.1	25.3	27.8	12.7	15.2	12.7	24.1	20.3	20.3	15.2	11.4
	女性	114	42.1	32.5	22.8	19.3	26.3	21.9	21.1	10.5	12.3	12.3	8.8	9.6
年齢	15～19歳	60	18.3	5.0	28.3	26.7	23.3	15.0	15.0	48.3	40.0	15.0	6.7	15.0
	20～24歳	55	41.8	32.7	21.8	27.3	23.6	20.0	25.5	3.6	10.9	7.3	12.7	12.7
	25～29歳	79	60.8	44.3	21.5	16.5	16.5	21.5	13.9	-	-	21.5	13.9	5.1
婚姻状況	未婚	147	38.8	27.9	25.2	27.2	23.8	19.0	20.4	21.1	20.4	14.3	12.2	13.6
	配偶者あり	44	52.3	29.5	18.2	6.8	9.1	15.9	6.8	-	-	20.5	6.8	-
	配偶者と死別	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	配偶者と離別（離婚）	2	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	100.0	50.0	-	-	-	50.0	-
働き方（3区分）	学生	81	19.8	6.2	24.7	32.1	22.2	14.8	16.0	38.3	33.3	11.1	6.2	13.6
	働いている	101	57.4	47.5	20.8	12.9	19.8	21.8	17.8	-	3.0	18.8	10.9	8.9
	無職	9	66.7	33.3	55.6	55.6	22.2	33.3	33.3	-	-	11.1	55.6	-
	その他	2	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-

		n	家族関係	子育てのこと	恋人との交際に	地域や環境の問題のこと	自分の居場所がないこと	その他	特に困りごとはないや	無回答
全体		194	10.3	7.7	7.2	5.7	3.6	1.5	15.5	0.5
性別	男性	79	12.7	3.8	8.9	6.3	2.5	1.3	10.1	1.3
	女性	114	8.8	10.5	6.1	5.3	4.4	1.8	18.4	-
年齢	15～19歳	60	13.3	-	10.0	6.7	1.7	-	20.0	-
	20～24歳	55	5.5	1.8	5.5	3.6	3.6	3.6	16.4	-
	25～29歳	79	11.4	17.7	6.3	6.3	5.1	1.3	11.4	1.3
婚姻状況	未婚	147	10.9	0.7	8.8	4.8	3.4	1.4	17.0	-
	配偶者あり	44	6.8	29.5	2.3	9.1	2.3	2.3	11.4	2.3
	配偶者と死別	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	配偶者と離別（離婚）	2	50.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-
働き方（3区分）	学生	81	11.1	-	7.4	4.9	1.2	2.5	18.5	-
	働いている	101	7.9	12.9	6.9	6.9	5.0	1.0	13.9	1.0
	無職	9	33.3	22.2	-	-	11.1	-	11.1	-
	その他	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-

第2章 調査結果の詳細

性別にみると、「収入や生活費のこと」は男女とも4割台で最も高くなっている。女性では「容姿のこと」(26.3%)が男性を13.6ポイント上回り、男性では「進学のこと」(24.1%)が女性を13.6ポイント上回っている。

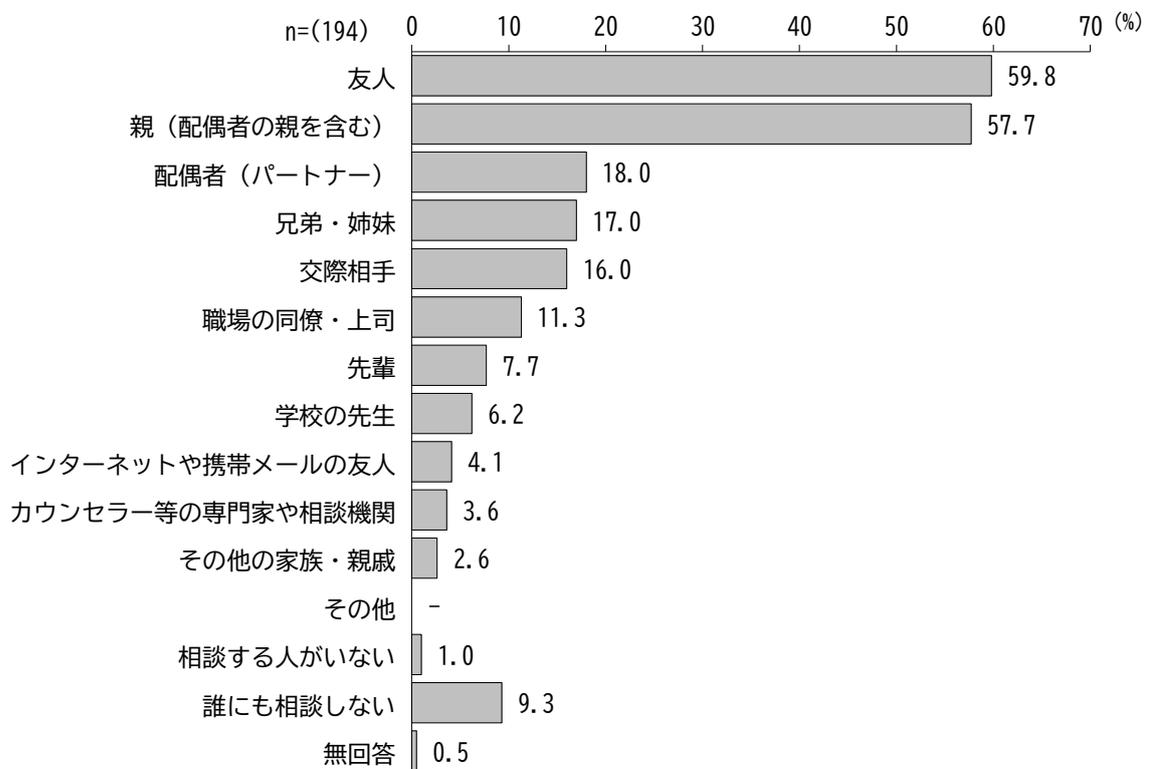
年齢別にみると、15～19歳では「進学のこと」と「学校での勉強や成績のこと」が4割以上となっている。「収入や生活費のこと」は25～29歳が60.8%、20～24歳でも41.8%と最も高くなっている。25～29歳では「仕事や職場のこと」も44.3%と他の年齢より高くなっている。

婚姻状況別にみると、「収入や生活費のこと」(未婚：38.8%、配偶者あり：52.3%)が最も高く、配偶者ありが未婚を13.5ポイント上回っている。未婚では「就職のこと」(27.2%)が配偶者あり(6.8%)を20.4ポイント上回り、この他、「容姿のこと」(23.8%)、「性格のこと」(20.4%)、「学校での勉強や成績のこと」(20.4%)、「友だちや仲間との人間関係」(13.6%)でも10ポイント以上上回っている。

働き方(3区分)別にみると、学生では、「進学のこと」、「学校での勉強や成績のこと」、「就職のこと」など学校や就職関係が3割台と高くなっている。働いているでは、「収入や生活費のこと」(57.4%)、「仕事や職場のこと」(47.5%)など生活や就業関係が高くなっている。

(4) 悩みや心配ごとの相談先

問7 悩みや心配ごとがある場合、あなたは誰に相談しますか。(いくつでも)



悩みや心配ごとの相談先は、「友人」(59.8%)と「親(配偶者の親を含む)」(57.7%)が5割台と特に高くなっている。

〈 性別、年齢別、婚姻状況別、働き方（3区分）別／“悩みや心配ごとの相談先” 〉

(%)

		n	友人	親 (配偶者の親を含む)	配偶者 (パートナー)	兄弟・姉妹	交際相手	職場の同僚・上司	先輩	学校の先生	携帯メールの友人 インターネットや	カウンセラー等の 専門家や相談機関	その他の家族・親戚	その他
全体		194	59.8	57.7	18.0	17.0	16.0	11.3	7.7	6.2	4.1	3.6	2.6	-
性別	男性	79	51.9	44.3	12.7	7.6	13.9	5.1	11.4	12.7	3.8	3.8	-	-
	女性	114	65.8	66.7	21.9	23.7	17.5	14.9	5.3	1.8	4.4	3.5	3.5	-
年齢	15～19歳	60	70.0	55.0	-	13.3	11.7	1.7	8.3	15.0	-	3.3	-	-
	20～24歳	55	56.4	65.5	5.5	21.8	23.6	10.9	10.9	5.5	3.6	3.6	5.5	-
	25～29歳	79	54.4	54.4	40.5	16.5	13.9	19.0	5.1	-	7.6	3.8	2.5	-
婚姻状況	未婚	147	61.9	57.8	0.7	16.3	21.1	11.6	7.5	8.2	4.1	4.1	2.0	-
	配偶者あり	44	52.3	56.8	75.0	20.5	-	11.4	9.1	-	4.5	-	4.5	-
	配偶者と死別	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	配偶者と離別（離婚）	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-
働き方（3区分）	学生	81	66.7	54.3	-	17.3	14.8	1.2	7.4	14.8	1.2	2.5	1.2	-
	働いている	101	56.4	62.4	33.7	17.8	18.8	19.8	6.9	-	5.9	4.0	3.0	-
	無職	9	33.3	55.6	11.1	11.1	-	-	-	-	11.1	11.1	11.1	-
	その他	2	100.0	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-

		n	相談する人がいない	誰にも相談しない	無回答
全体		194	1.0	9.3	0.5
性別	男性	79	-	12.7	1.3
	女性	114	1.8	7.0	-
年齢	15～19歳	60	-	8.3	-
	20～24歳	55	1.8	12.7	-
	25～29歳	79	1.3	7.6	1.3
婚姻状況	未婚	147	0.7	11.6	-
	配偶者あり	44	2.3	2.3	2.3
	配偶者と死別	-	-	-	-
	配偶者と離別（離婚）	2	-	-	-
働き方（3区分）	学生	81	-	9.9	-
	働いている	101	2.0	7.9	1.0
	無職	9	-	22.2	-
	その他	2	-	-	-

性別にみると、男女ともに友人や親が中心で、女性では「親（配偶者の親を含む）」（66.7%）が最も高く、男性を22.4ポイント上回る。男性では「友人」（51.9%）が最も高いが女性（65.8%）より13.9ポイント低くなっている。女性ではこの他、「兄弟・姉妹」（23.7%）で16.1ポイント、「配偶者（パートナー）」（21.9%）や「職場の同僚」（14.9%）で9ポイント以上男性を上回っている。また、男性では「学校の先生」（12.7%）が女性（1.8%）を10.9ポイント上回っている。

年齢別にみると、「友人」と「親（配偶者の親を含む）」はいずれも5割以上で年齢を通じた共通した相談先となっており、特に15～19歳では「友人」が70.0%となっている。25～29歳では「配偶者（パートナー）」（40.5%）、20～24歳では「交際相手」（23.6%）が他の年齢と比較して高くなっている。

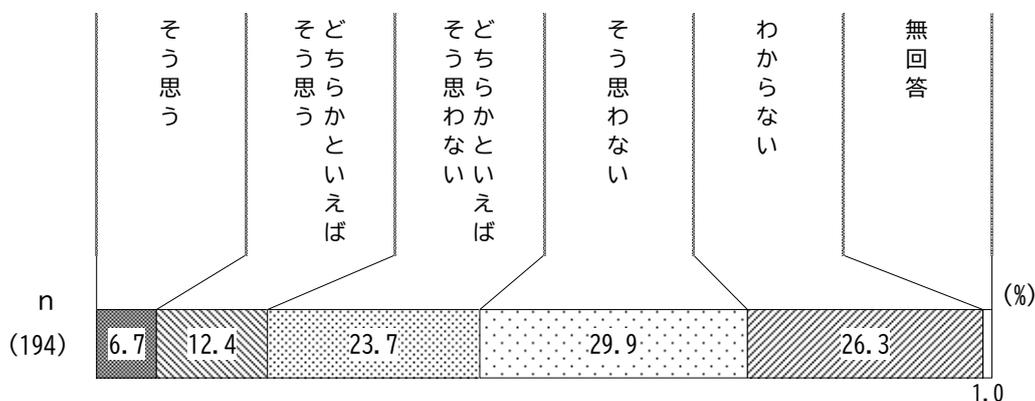
第2章 調査結果の詳細

婚姻状況別にみると、未婚、配偶者ありともに「友人」と「親（配偶者の親を含む）」が5割以上となっており、配偶者ありでは、「配偶者（パートナー）」への相談が75.0%と特に高くなっている。

働き方（3区分）別にみると、学生、働いているとともに「親（配偶者の親を含む）」が特に高く、働いているでは62.4%、学生では54.3%となっている。この他、働いているでは「配偶者（パートナー）」も33.7%となっている。

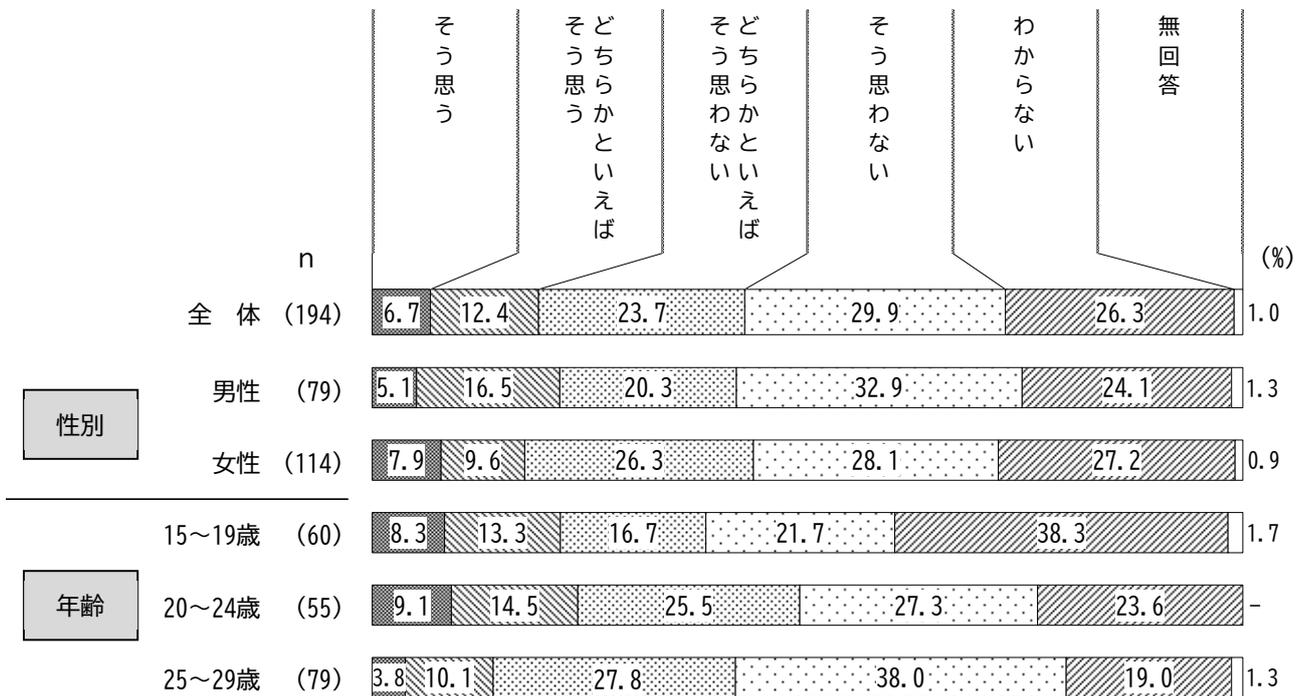
（5）子どもや若者に関する政策への意見の聴き入れ

問8 子どもや若者に関する政策について、あなたは、自分の意見を聴いてもらえていると思いますか。（1つだけ）



子どもや若者に関する政策について、自分の意見を聴いてもらえていると思うか聞いたところ、『そう思う』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の計）は19.1%となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」は23.7%、「そう思わない」は29.9%で両者をあわせた『そう思わない』は53.6%となっており、『そう思わない』が『そう思う』を34.5ポイント上回っている。

〈 性別、年齢別／“子どもや若者に関する政策への意見の聴き入れ” 〉

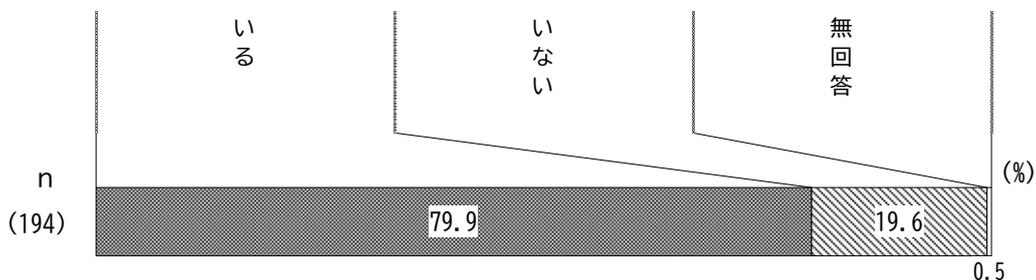


性別にみると、『そう思う』は男性が21.6%、女性が17.5%となっている。『そう思わない』は男女とも5割台となっており、大きな差はみられない。

年齢別にみると、『そう思わない』は年齢が上がるにつれて割合が高くなり、20歳以上で半数を超え、25～29歳では65.8%となっている。

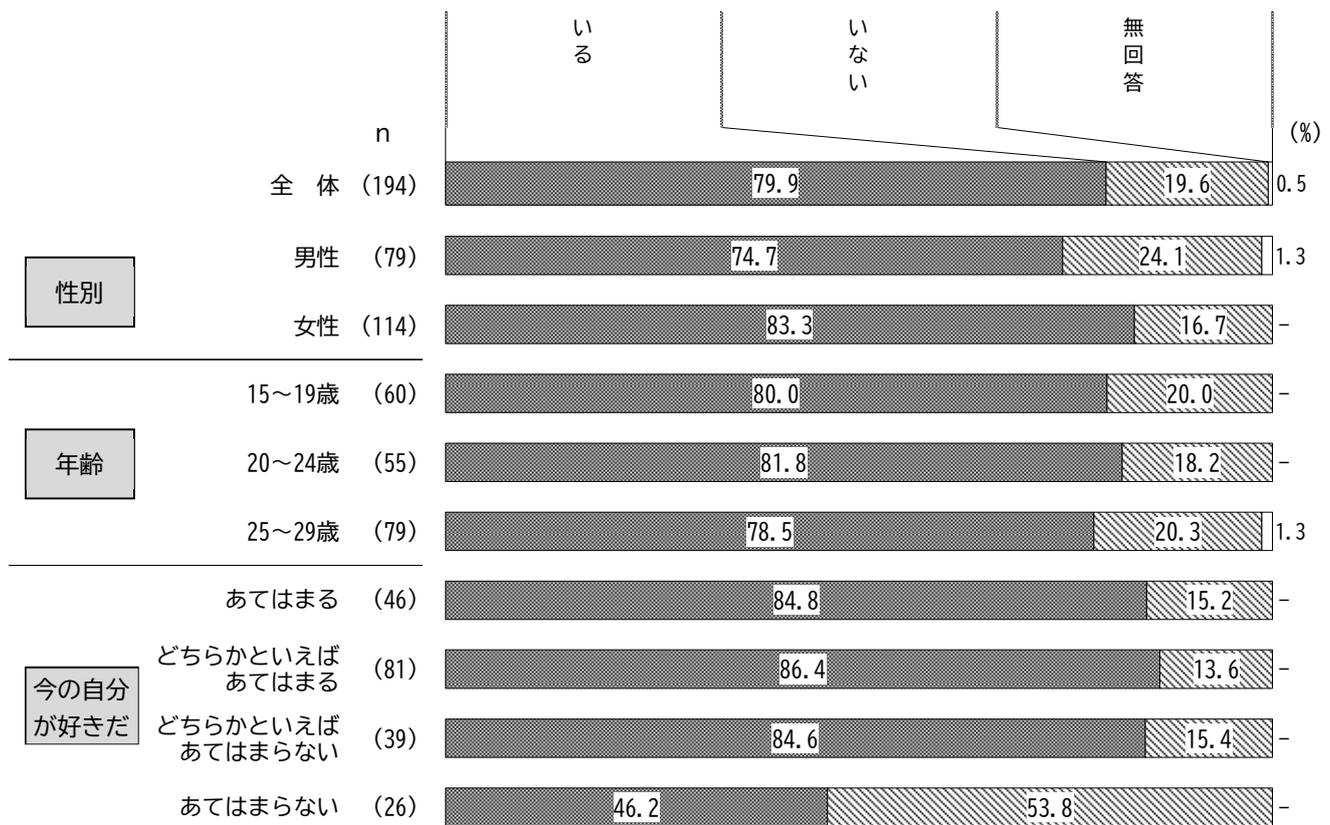
(6) 何でも話せる友人の有無

問9 何でも話せる友人がいますか。(1つだけ)



何でも話せる友人が「いる」は79.9%、「いない」は19.6%となっている。

〈 性別、年齢別、今の自分が好きか別／“何でも話せる友人の有無” 〉



性別にみると、「いる」は女性の方が男性よりやや高くなっている。

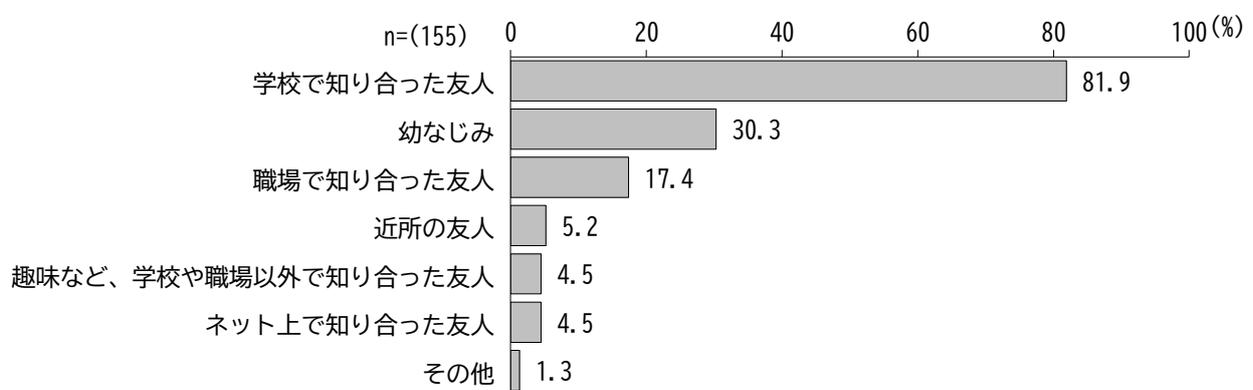
年齢別にみると、いずれの年齢も8割前後となっている。

今の自分が好きか別にみると、「いる」は、あてはまらないが46.2%となっており、「いない」より低いですが、それ以外では8割台となっている。

(7) 何でも話せる友人

【問9で「いる」を選んだ方のみ】

問9-1 何でも話せるのはどのような人ですか。(いくつでも)



何でも話せる友人は、「学校で知り合った友人」が81.9%と特に高く、「幼なじみ」が30.3%となっている。

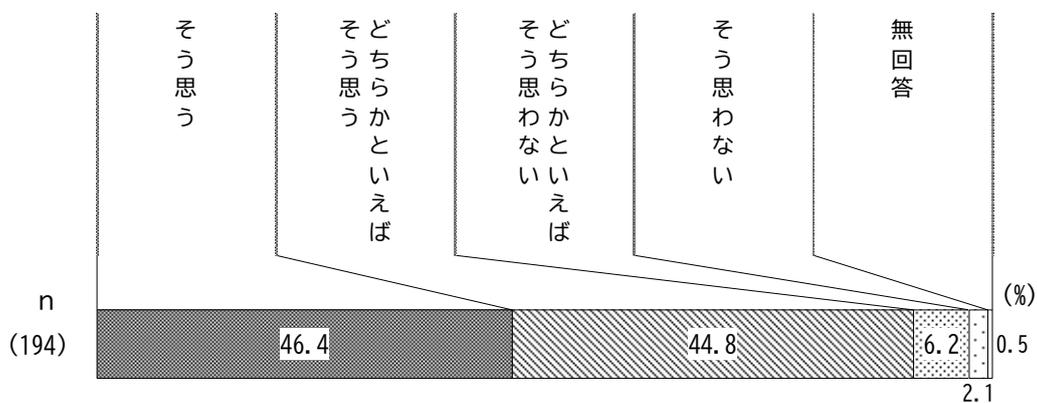
〈 年齢別／何でも話せる友人 〉

	n	学校で知り合った友人	幼なじみ	職場で知り合った友人	近所の友人	学校や職場以外で知り合った友人	趣味など、知り合った友人	ネット上で知り合った友人	その他
全体	155	81.9	30.3	17.4	5.2	4.5	4.5	1.3	
15～19歳	48	85.4	41.7	2.1	10.4	4.2	2.1	-	
20～24歳	45	80.0	26.7	17.8	6.7	4.4	6.7	2.2	
25～29歳	62	80.6	24.2	29.0	-	4.8	4.8	1.6	

年齢別にみると、いずれも「学校で知り合った友人」が8割台で最も高く、15～19歳では「幼なじみ」も41.7%と他の年齢より高くなっている。「職場で知り合った友人」は年齢が上がるにつれて高くなるが、反対に「近所の友人」は年齢が上がるにつれて低くなっている。

(8) 現在の幸福感

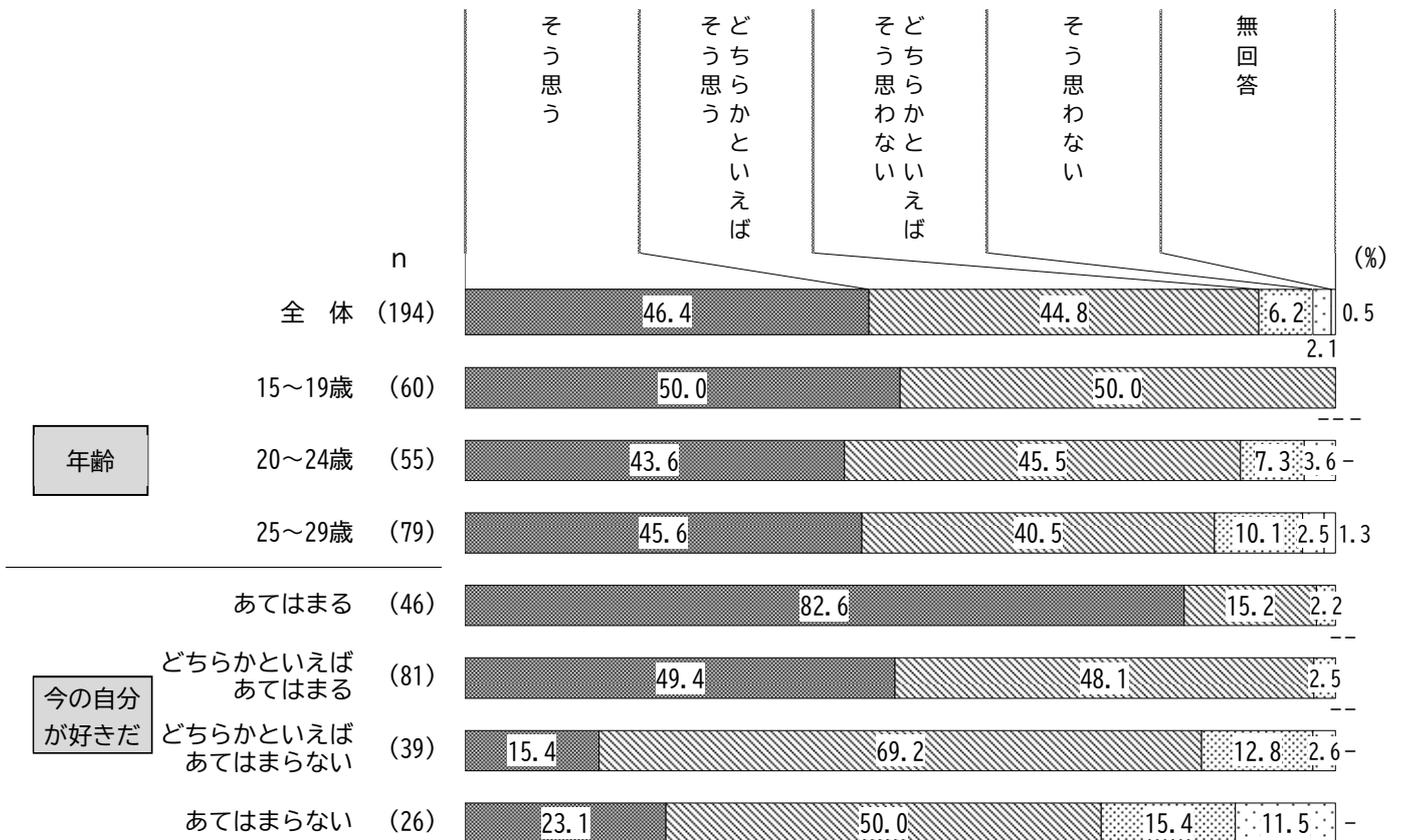
問10 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。
(1つだけ)



今、自分が幸せだと思うかその実感聞いたところ、「そう思う」は46.4%、「どちらかといえばそう思う」は44.8%で、両者をあわせた『そう思う』は91.2%となっている。一方、『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の計）は1割未満となっている。

第2章 調査結果の詳細

〈 年齢別、今の自分が好きか別／“現在の幸福感” 〉

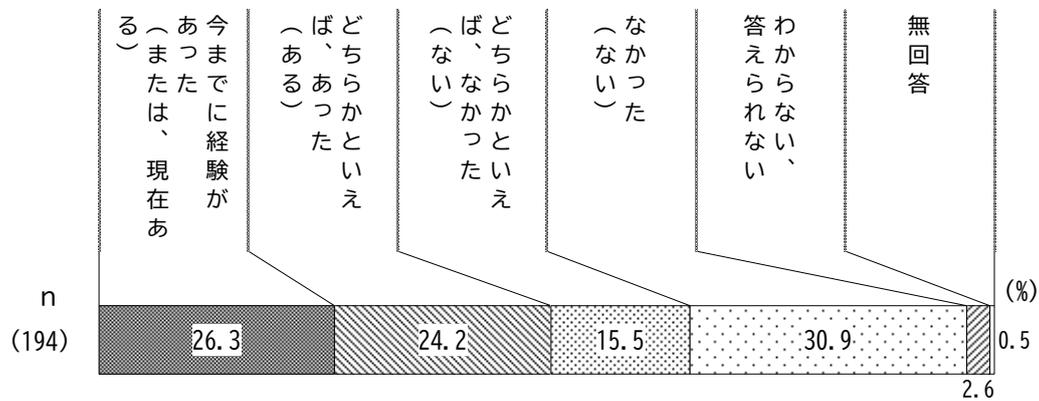


年齢別にみると、『そう思う』は15～19歳で全数、それ以上の年齢でも8割台となっている。

今の自分が好きか別にみると、『そう思う』はいずれも7割以上となっているが、自分が好きの程度が下がるにつれて、幸せの実感度は低くなる傾向がみられる。

(9) 現在や過去に社会生活や日常生活を円滑に送る、送れた状況

問11 あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況がありますか。
(1つだけ)

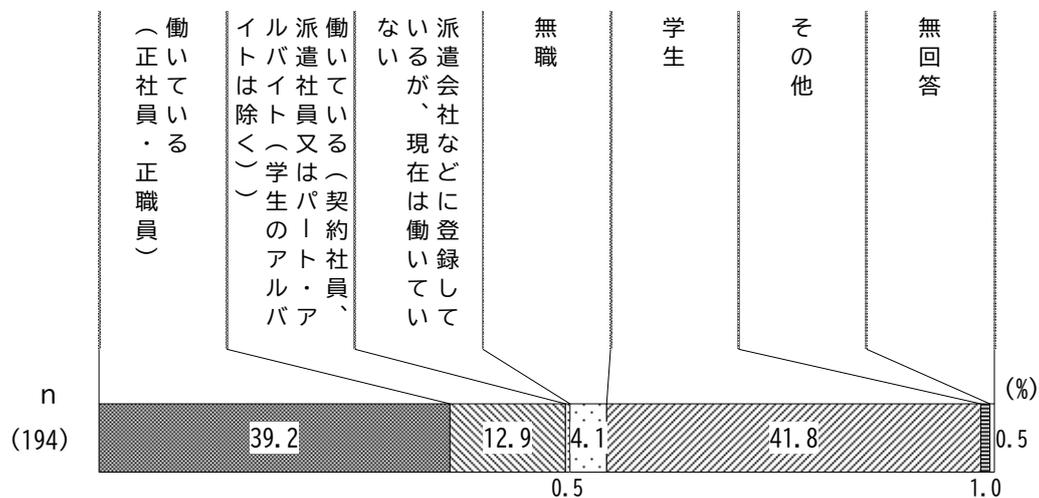


今までに、社会生活や日常生活を円滑に送れなかったことが「今までに経験があった（または、現在ある）」は26.3%、「どちらかといえば、あった（ある）」は24.2%で、両者をあわせた『経験あり』は50.5%となっている。一方、「どちらかといえば、なかった（ない）」は15.5%、「なかった（ない）」は30.9%で、両者をあわせた『経験なし』は46.4%となっている。

4. 仕事・進路に関することについて

(1) 働き方

問12 働き方に関連して、あてはまるもの1つを選んで○をつけてください。(1つだけ)

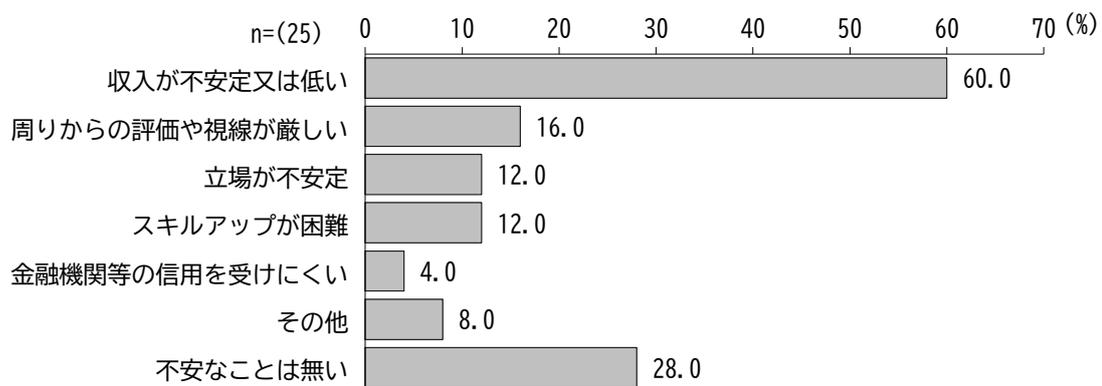


働き方は、「働いている(正社員・正職員)」が39.2%、「働いている(契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト(学生のアルバイトは除く))」が12.9%となっており、就労者は全体の52.1%となっている。一方、「学生」(41.8%)などの未就労者は全体の47.4%となっている。

(2) 雇用形態への不安

【問12で「働いている(契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト(学生のアルバイトは除く))」を選んだ方のみ】

問12-1 雇用形態について不安なことはありますか。(いくつでも)

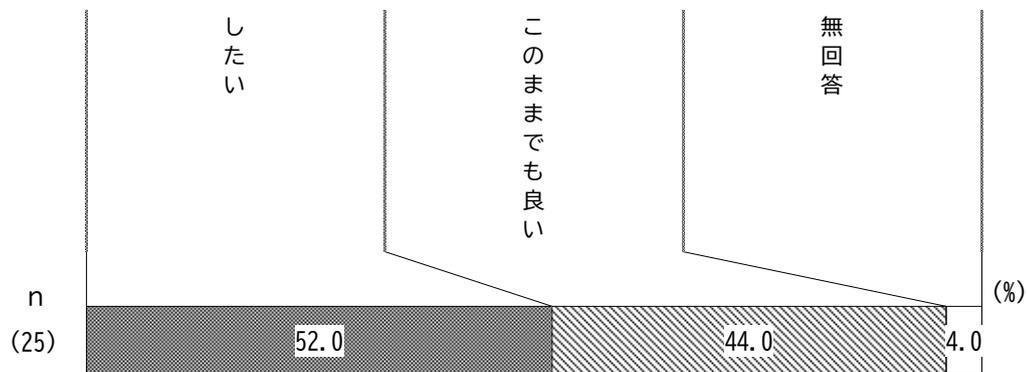


正規職以外就労者の、雇用形態について不安なことは、「収入が不安定又は低い」(60.0%)が最も高くなっている。一方、「不安なことは無い」は28.0%となっている。

(3) 正社員・正職員としての就職意向

【問12で「働いている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生のアルバイトは除く））」を選んだ方のみ】

問12-2 正社員・正職員として就職したいですか。（1つだけ）



正規職以外就労者の正社員・正職員としての就職意向は、「したい」が52.0%、「このままでも良い」が44.0%となっており、就職意向は2人に1人程度となっている。

(4) 就職や進学のための準備

【問12で「派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」「無職」を選んだ方のみ】

問12-3 現在、就職活動や、進学のための勉強などの準備をしていますか。（1つだけ）

(上段：実数、下段：%)

	n	している	していない
回答者数	9	3	6
割合	100.0	33.3	66.7

現在、就職活動や、進学のための勉強などの準備は、回答者9人のうち、「している」が3人、「していない」が6人となっている。

(5) 就業意向

【問12で「派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」「無職」を選んだ方のみ】
問12-4 仕事をしたいと思っていますか。(1つだけ)

(上段：実数、下段：%)

	n	し仕 た事 いを	し仕 た事 くを ない
回答者数	9	9	-
割合	100.0	100.0	-

派遣会社などに登録して現在働いていない人や無職の人の就業意向は、回答者9人全員が「仕事をしたい」と回答している。

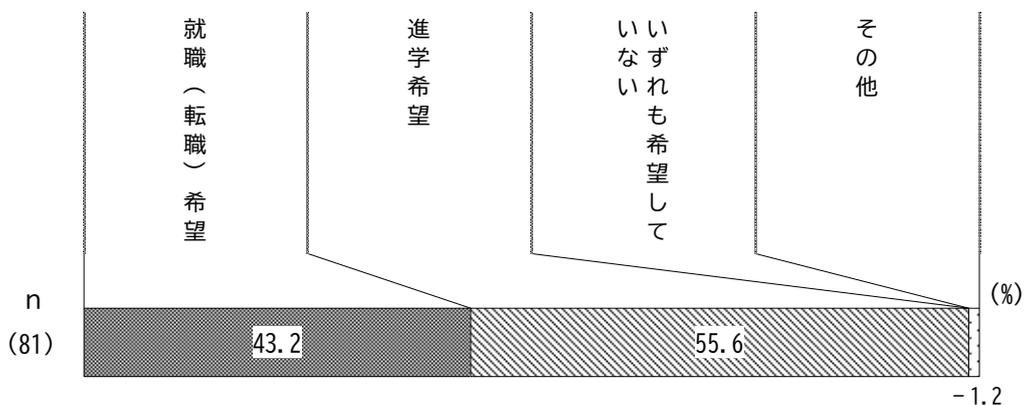
(6) 就業意向がない理由

【問12-4で「仕事をしたくない」を選んだ方のみ】
問12-5 仕事をしたくない理由は何ですか。(いくつでも)

この設問の該当者はいなかった。

(7) 卒業後の希望

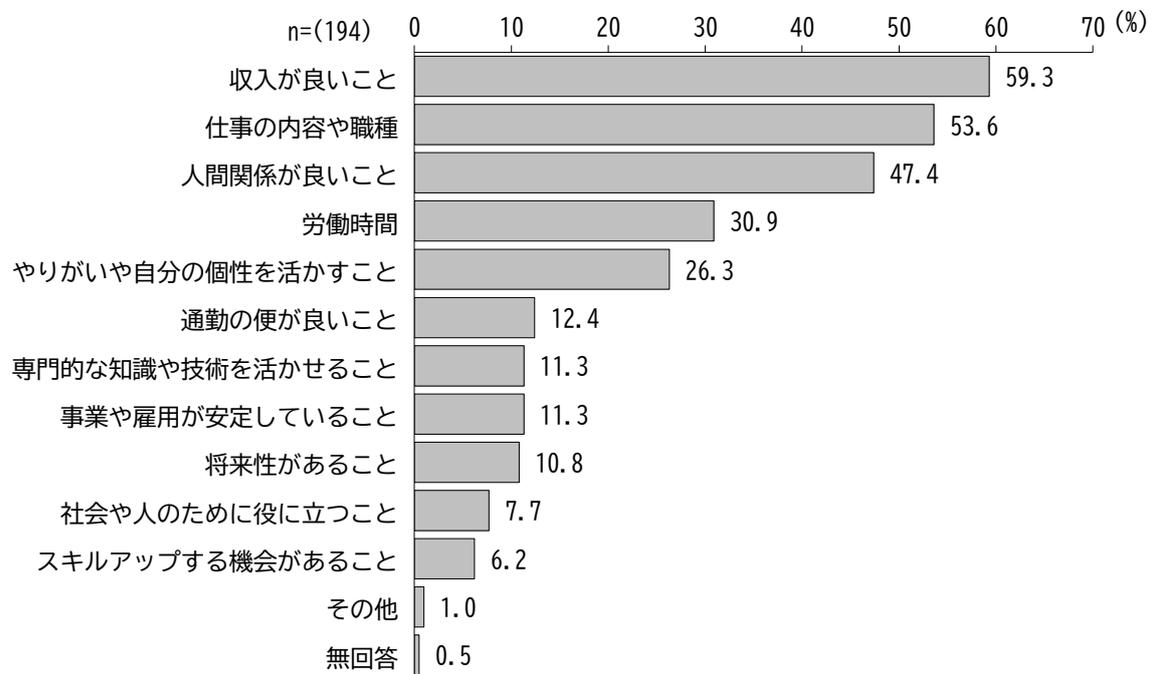
【問12で「学生」を選んだ方のみ】
問12-6 現在の学校を卒業後の希望について、あなたの考えにあてはまるものを選んでください。(1つだけ)



現在学生の卒業後の進路希望は、「就職(転職)希望」が43.2%、「進学希望」が55.6%となっている。

(8) 働く上で、または仕事を選ぶ際に重視すること

問13 あなたが働く上で、または仕事を選ぶ際に重視することは何でしょうか。あてはまるものを3つ選んでください。(現在、働いていない方もお答えください。)(3つまで)



仕事を選ぶ際に重視することは、「収入が良いこと」(59.3%)と「仕事の内容や職種」(53.6%)が5割台となっている。次いで「人間関係が良いこと」が47.4%、「労働時間」が30.9%となっており、知識や技術の活用、スキルアップ、社会貢献といった項目は低くなっている。

〈 性別、年齢別／“働く上で、または仕事を選ぶ際に重視すること” 〉

(%)

	n	収入が良いこと	仕事の内容や職種	人間関係が良いこと	労働時間	活かす自分の個性を	やりがいや自分の個性を活かすこと	通勤の便が良いこと	知識や技術を高めること	専門的なスキルを身につけること	安定した雇用があること	将来性があること	社会や人のために役に立つこと	スキルアップする機会があること
全体	194	59.3	53.6	47.4	30.9	26.3	12.4	11.3	11.3	10.8	7.7	6.2		
性別	男性	79	63.3	48.1	32.9	27.8	34.2	8.9	13.9	12.7	16.5	8.9	10.1	
	女性	114	57.0	57.9	57.0	33.3	21.1	14.9	9.6	10.5	7.0	7.0	3.5	
年齢	15～19歳	60	70.0	50.0	43.3	28.3	40.0	8.3	10.0	5.0	13.3	11.7	1.7	
	20～24歳	55	58.2	49.1	52.7	25.5	21.8	12.7	14.5	18.2	7.3	9.1	3.6	
	25～29歳	79	51.9	59.5	46.8	36.7	19.0	15.2	10.1	11.4	11.4	3.8	11.4	

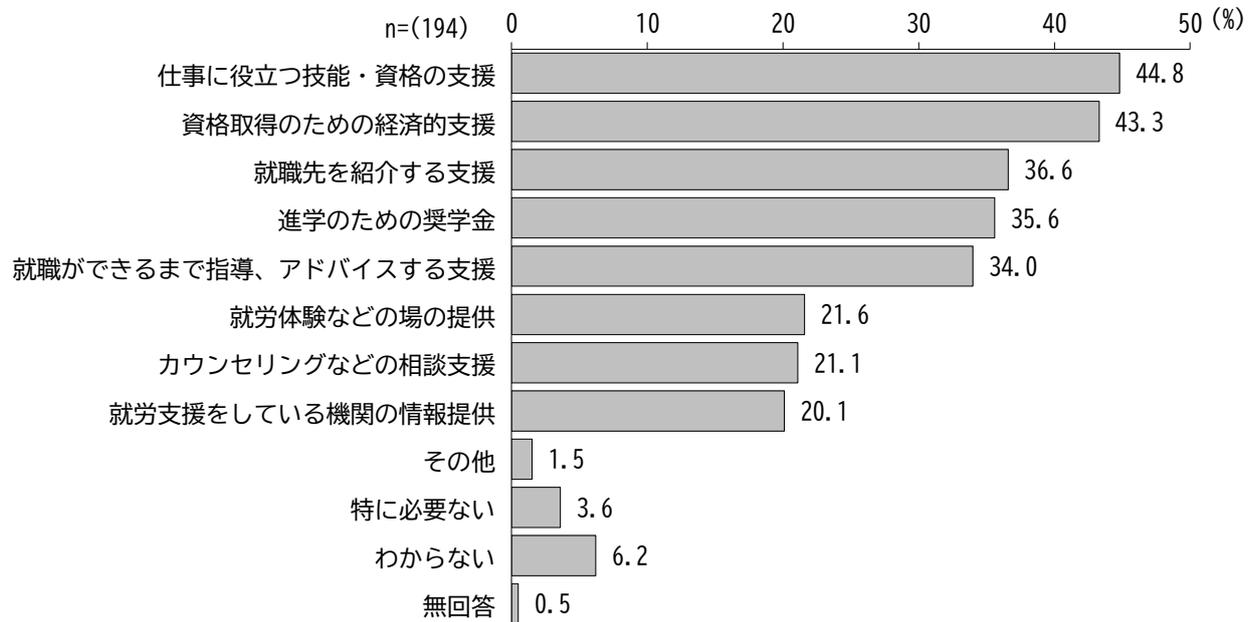
	n	その他	無回答
全体	194	1.0	0.5
性別	男性	-	1.3
	女性	1.8	-
年齢	15～19歳	-	-
	20～24歳	1.8	-
	25～29歳	1.3	1.3

性別にみると、男性では「収入が良いこと」が63.3%で最も高くなっている。女性では「仕事の内容や職種」が57.9%で最も高いが、「収入が良いこと」や「人間関係が良いこと」も同水準で高くなっており、特に「人間関係が良いこと」(57.0%)は男性(32.9%)を24.1ポイント上回り、「仕事の内容や職種」(57.9%)でも女性の方が9.8ポイント上回っている。男性では、「やりがいや自分の個性を活かすこと」(34.2%)が13.1ポイント、「将来性があること」(16.5%)が女性を9.5ポイント上回っている。

年齢別にみると、「収入が良いこと」はいずれの年齢も5割以上で、年齢を通じて共通した重視項目となっており、特に15～19歳では70.0%となっている。25～29歳では「仕事の内容や職種」が6割近くとなっており、それ以下の年齢でも5割程度となっている。また、「労働時間」は25～29歳で36.7%、「やりがいや自分の個性を活かすこと」は15～19歳で40.0%と他の年齢より高くなっている。

(9) 経済的に自立するために必要だと思うこと

問14 次の中で、経済的に自立するためにあなたが必要だと思うすべてを選んでください。
(いくつでも)



経済的に自立するために必要だと思うことは、「仕事に役立つ技能・資格の支援」(44.8%)、「資格取得のための経済的支援」(43.3%)が4割台となっている。次いで、「就職先を紹介する支援」(36.6%)、「進学のための奨学金」(35.6%)、「就職ができるまで指導、アドバイスする支援」(34.0%)が3割台となっている。

第2章 調査結果の詳細

〈性別、年齢別、今の自分が好きか別／“経済的に自立するために必要だと思うこと”〉

(%)

		n	仕事に役立つ技能・資格の支援	資格取得のための経済的支援	就職先を紹介する支援	進学のための奨学金	就職ができるまで指導、アドバイスする支援	就労体験などの場の提供	カウンセリングなどの相談支援	就労支援をしている機関の情報提供	その他	特に必要ない	わからない	無回答
全体		194	44.8	43.3	36.6	35.6	34.0	21.6	21.1	20.1	1.5	3.6	6.2	0.5
性別	男性	79	45.6	39.2	32.9	34.2	31.6	20.3	19.0	13.9	1.3	6.3	7.6	1.3
	女性	114	44.7	46.5	39.5	36.8	35.1	22.8	22.8	24.6	1.8	1.8	5.3	-
年齢	15～19歳	60	48.3	33.3	36.7	45.0	40.0	28.3	25.0	20.0	-	3.3	11.7	-
	20～24歳	55	38.2	49.1	34.5	34.5	40.0	20.0	16.4	20.0	1.8	3.6	3.6	-
	25～29歳	79	46.8	46.8	38.0	29.1	25.3	17.7	21.5	20.3	2.5	3.8	3.8	1.3
今の自分が好きだ	あてはまる	46	39.1	41.3	32.6	39.1	26.1	15.2	15.2	21.7	2.2	8.7	8.7	-
	どちらかといえばあてはまる	81	48.1	42.0	33.3	35.8	34.6	16.0	14.8	13.6	1.2	1.2	4.9	-
	どちらかといえばあてはまらない	39	41.0	41.0	48.7	30.8	43.6	35.9	33.3	25.6	2.6	2.6	7.7	-
	あてはまらない	26	46.2	53.8	34.6	34.6	30.8	30.8	34.6	26.9	-	3.8	3.8	3.8

性別にみると、「資格取得のための経済的支援」（46.5%）、「就職先を紹介する支援」（39.5%）、「就労支援をしている機関の情報提供」（24.6%）では女性が男性を6ポイント以上上回っている。

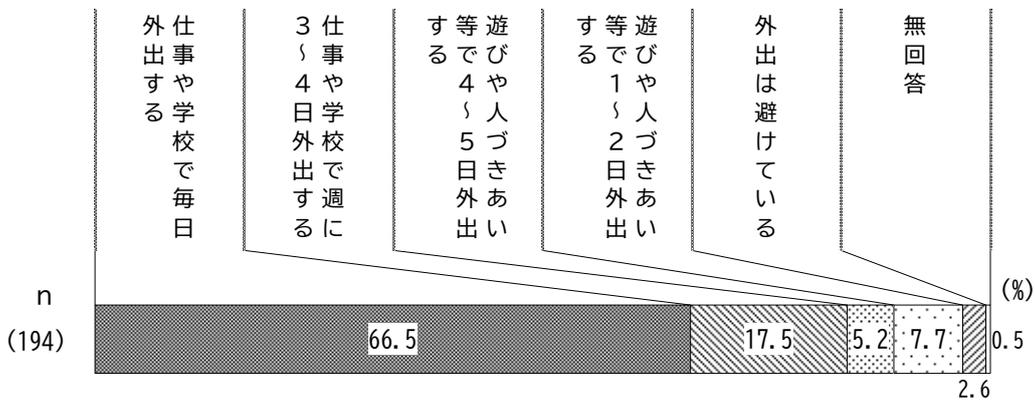
年齢別にみると、「仕事に役立つ技能・資格の支援」は15～19歳（48.3%）と25～29歳（46.8%）が高い。25～29歳では「仕事に役立つ技能・資格の支援」と「資格取得のための経済的支援」が46.8%で最も高い。20～24歳では「資格取得のための経済的支援」が49.1%で最も高くなっている。「進学のための奨学金」は15～19歳で45.0%であるが、年齢が上がるにつれて割合が低くなっている。「就職ができるまで指導、アドバイスする支援」は25～29歳の25.3%に対して、15～19歳と20～24歳では40.0%となっている。

今の自分が好きか別にみると、「就職先を紹介する支援」、「就労体験などの場の提供」、「カウンセリングなどの相談支援」、「就労支援をしている機関の情報提供」では自分を好きとする層よりも、そうではない層の方で割合が高くなっている。

5. 地域との関わりについて

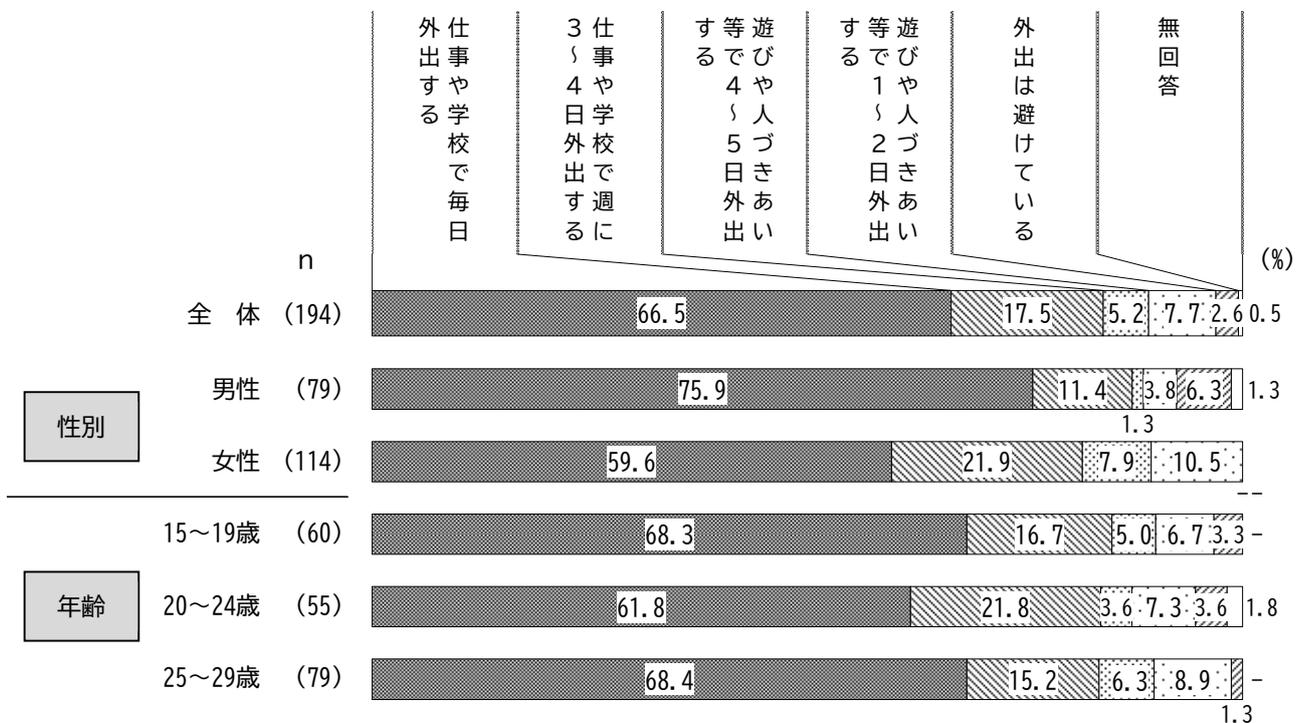
(1) 平日の外出状況

問15 あなたは平日どのくらい外出しますか。自身に一番近いもの1つ選んでください。
(1つだけ)



平日の外出頻度は、「仕事や学校で毎日外出する」が66.5%、「仕事や学校で週に3~4日外出する」が17.5%となっている。

〈 性別、年齢別／“平日の外出状況” 〉



性別にみると、男女とも「仕事や学校で毎日外出する」が最も多いが、男性（75.9%）の方が女性（59.6%）より16.3ポイント高い。

年齢別にみると、15~19歳と25~29歳では「仕事や学校で毎日外出する」が7割近く、20~24歳でも61.8%となっている。

(2) 外出を避けている程度

【問15で「外出は避けている」を選んだ方のみ】

問15-1 外出を「避けている」程度はどのくらいですか。(1つだけ)

(上段：実数、下段：%)

	n	用自普 事分のは のの趣家 とき味に だけいる け関が、 外出する	出近普 か所のは けのは るコに ニ な ど に は	家自 か室 らから はら出 出ない が、	ほと自 と室 んから ど 出 ない	そ の 他
回答者数	5	3	1	-	-	1
割合	100.0	60.0	20.0	-	-	20.0

外出を避けている人の程度は、回答者5人のうち、「普段は家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」が3人、「普段は家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」が1人、「その他」が1人となっている。

(3) 外出を避けるようになった年齢

【問15で「外出は避けている」を選んだ方のみ】

問15-2 外出を避けるようになったのは、あなたが何歳のころですか。具体的な数字を記入してください。

(上段：実数、下段：%)

	n	1 4 歳 以 下	1 5 ~ 1 9 歳	2 0 ~ 2 4 歳
回答者数	5	2	1	2
割合	100.0	40.0	20.0	40.0

外出を避けるようになった年齢は、回答者5人のうち、「14歳以下」と「20~24歳」がそれぞれ2人、「15~19歳」が1人となっている。

(4) 外出を避けるようになってからの期間

【問15で「外出は避けている」を選んだ方のみ】

問15-3 あなたが外出を避けるようになって、どのくらい経ちますか。(1つだけ)

(上段：実数、下段：%)

	n	6 か 月 未 満	1 6 年 か 未 満 以 上	3 1 年 未 以 満 上	5 3 年 未 以 満 上	7 5 年 未 以 満 上	7 年 以 上
回答者数	5	1	-	-	3	1	-
割合	100.0	20.0	-	-	60.0	20.0	-

外出を避けるようになってからの期間は回答者5人のうち、「3年以上5年未満」が3人、「6か月未満」と「5年以上7年未満」がそれぞれ1人となっている。

(5) 外出を避けるようになったきっかけ

【問15で「外出は避けている」を選んだ方のみ】

問15-4 外出を避けるようになったのは、どのようなきっかけですか。(いくつでも)

(上段：実数、下段：%)

	n	な 職 場 に な じ め な か つ た	い 人 と 接 す る の が い や に な つ た の が	病 気 や ケ ガ を し た	感 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 の 流 行	い 学 校 に 入 行 く の が	い 受 験 が な か つ た	い 就 職 活 動 が な か つ た
回答者数	5	1	1	1	1	-	-	-
割合	100.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-

	n	い 仕 事 が な か つ た	(失 恋 を し た 婚 を し た)	い じ め に あ つ た	妊 娠 ・ 出 産	そ の 他	特 に 理 由 は な い	わ か ら な い
回答者数	5	-	-	-	-	2	-	-
割合	100.0	-	-	-	-	40.0	-	-

外出を避けるようになったきっかけは、回答者5人のうち、「職場になじめなかった」、「人と接するのがいやになった」、「病気やケガをした」、「新型コロナウイルス感染症の流行」がそれぞれ1人、「その他」が2人となっている。

(6) 関係機関への相談意向

【問15で「外出は避けている」を選んだ方のみ】

問15-5 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いますか。(1つだけ)

(上段：実数、下段：%)

	n	非常に思う	思う	少し思う	思わない
回答者数	5	-	-	1	4
割合	100.0	-	-	20.0	80.0

現在の状態について、関係機関への相談意向は、回答者5人のうち、「少し思う」が1人、「思わない」が4人となっている。

(7) 相談したいと思わない理由

【問15-5で「思わない」を選んだ方のみ】

問15-6 相談したいと思わない理由は何ですか。(いくつでも)

(上段：実数、下段：%)

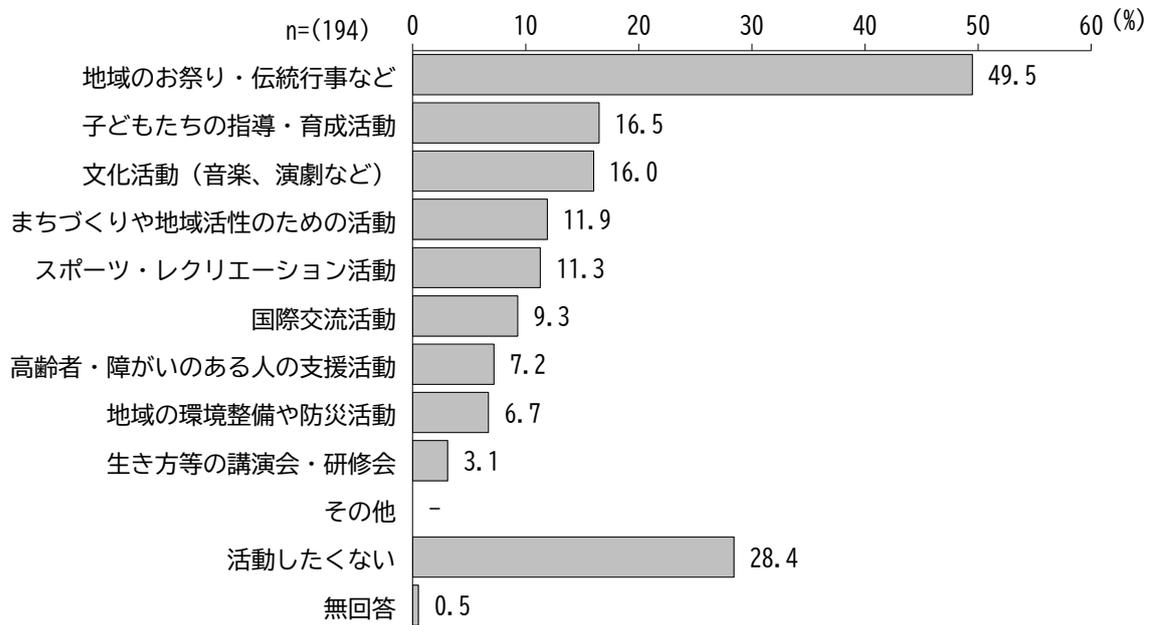
	n	話相手にうまく話せないと思う	行っても解決できないと思う	何を聞かれるか不安に思う	お金がかかると思う	自分だけのことを知らない	相談に行く人がいない	相談する所がない
回答者数	4	2	1	1	1	-	-	-
割合	100.0	50.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-

	n	その他	特に理由はない
回答者数	4	2	1
割合	100.0	50.0	25.0

相談したいと思わない理由は、「相手にうまく話せないと思う」が2名、「行っても解決できないと思う」、「何を聞かれるか不安に思う」、「お金がかかると思う」などが1名となっている。

(8) 今後、地域社会で参加したい活動

問16 今後、地域社会で参加したいものはありますか。(いくつでも)



今後、地域社会で参加したいものは、「地域のお祭り・伝統行事など」が49.5%と特に高く、次いで、「子どもたちの指導・育成活動」(16.5%)、「文化活動（音楽、演劇など）」(16.0%)、「まちづくりや地域活性のための活動」(11.9%)、「スポーツ・レクリエーション活動」(11.3%)となっている。一方、「活動したくない」は全体で2番目に高い28.4%となっている。

第2章 調査結果の詳細

〈 性別、年齢別／“今後、地域社会で参加したい活動” 〉

(%)

	n	地域のお祭り・ 伝統行事など	子どもたちの指導・ 育成活動	文化活動 (音楽、演劇など)	まちづくりや 地域活性のための活動	スポーツ・ レクリエーション活動	国際交流活動	高齢者・障 がいのある 人の支援活動	防災活動 地域の環境整備 や	生き方等の講演会・ 研修会	その他	活動したくない	無回答	
全体	194	49.5	16.5	16.0	11.9	11.3	9.3	7.2	6.7	3.1	-	28.4	0.5	
性別	男性	79	39.2	16.5	8.9	13.9	12.7	2.5	2.5	7.6	3.8	-	32.9	1.3
	女性	114	57.0	16.7	21.1	10.5	10.5	14.0	9.6	6.1	2.6	-	25.4	-
年齢	15～19歳	60	51.7	11.7	13.3	10.0	15.0	8.3	5.0	11.7	6.7	-	23.3	-
	20～24歳	55	45.5	12.7	14.5	12.7	7.3	10.9	12.7	3.6	1.8	-	30.9	1.8
	25～29歳	79	50.6	22.8	19.0	12.7	11.4	8.9	5.1	5.1	1.3	-	30.4	-

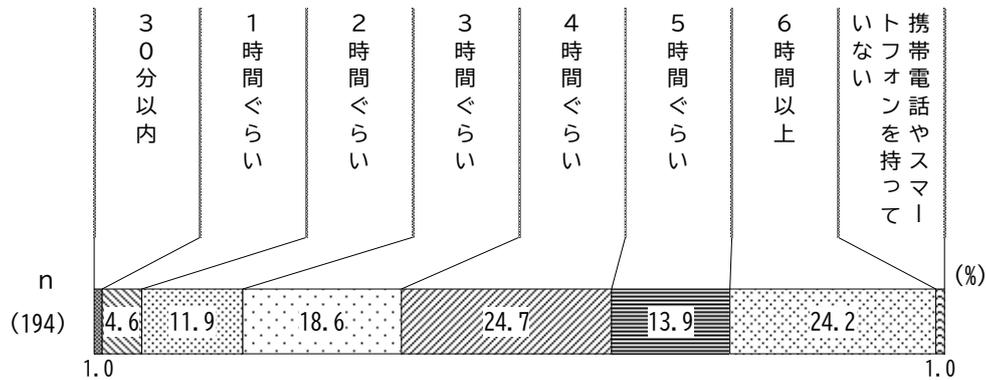
性別にみると、「地域のお祭り・伝統行事など」は男女ともに最も高いが、女性（57.0%）では男性（39.2%）を17.8ポイント上回っている。女性では「文化活動（音楽、演劇など）」（21.1%）も男性を12.2ポイント上回っている。また、「活動したくない」は男性（32.9%）が女性（25.4%）よりやや高くなっている。

年齢別にみると、「地域のお祭り・伝統行事など」はいずれの年齢でも4割以上で最も高くなっている。また、25～29歳は「子どもたちの指導・育成活動」（22.8%）、20～24歳は「高齢者・障がいのある人の支援活動」（12.7%）、15～19歳は「地域の環境整備や防災活動」（11.7%）がそれぞれ1割台だが、他の年齢より高くなっている。

6. インターネット・スマートフォンの利用について

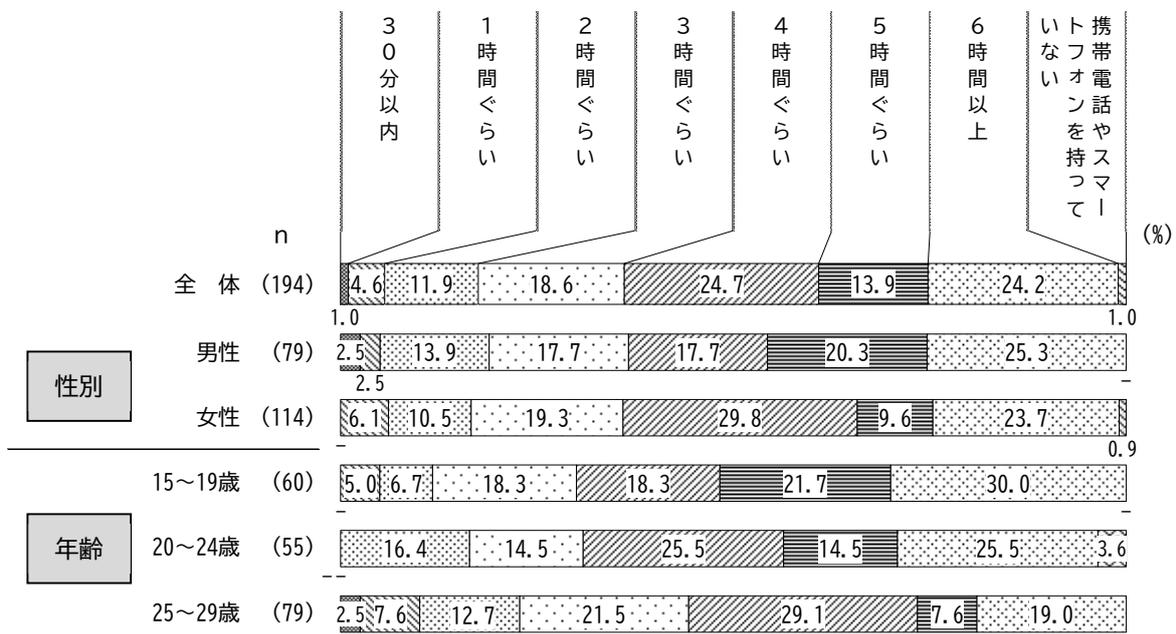
(1) 学校や仕事以外での携帯電話やスマートフォン等の1日平均使用時間

問17 あなたは、学校や仕事以外で、携帯電話、インターネットやスマートフォンなどの程度使用しますか。1日あたりの平均使用時間に近いものを選んでください。(1つだけ)



学校や仕事以外で、インターネットやデジタル機器等の使用時間は、「4時間ぐらい」(24.7%)、「6時間以上」(24.2%)が2割台で、1日あたり4時間以上の使用は、62.8%となっている。

〈 性別、年齢別／“学校や仕事以外での携帯電話やスマートフォン等の1日平均使用時間” 〉



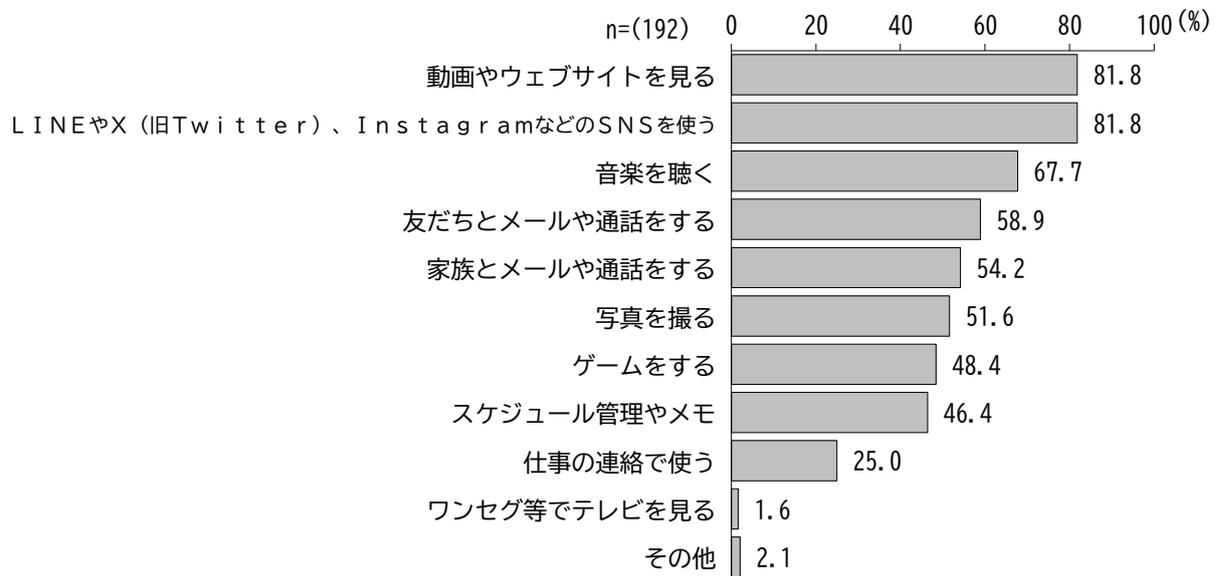
性別にみると、「6時間以上」では男性(25.3%)と女性(23.7%)がほぼ同じ割合だが、女性の「4時間ぐらい」は29.8%となっている。1日あたり4時間以上の使用は、男女とも6割台で大きな差はみられない。

年齢別にみると、「4時間ぐらい」は年齢が上がるにつれて割合が高くなり、25~29歳で29.1%となっている。15~19歳は「6時間以上」が30.0%、「5時間ぐらい」が21.7%で、年齢が上がるにつれて割合が低くなっている。1日あたり4時間以上の使用は、15~19歳が70.0%で、年齢が下がるにつれて割合は高くなっている。

(2) 携帯電話やスマートフォン等の使用目的

【問17で「30分以内」～「6時間以上」を選んだ方のみ】

問17-1 携帯電話やスマートフォンなどをどのような目的で使うことが多いですか。
(いくつでも)

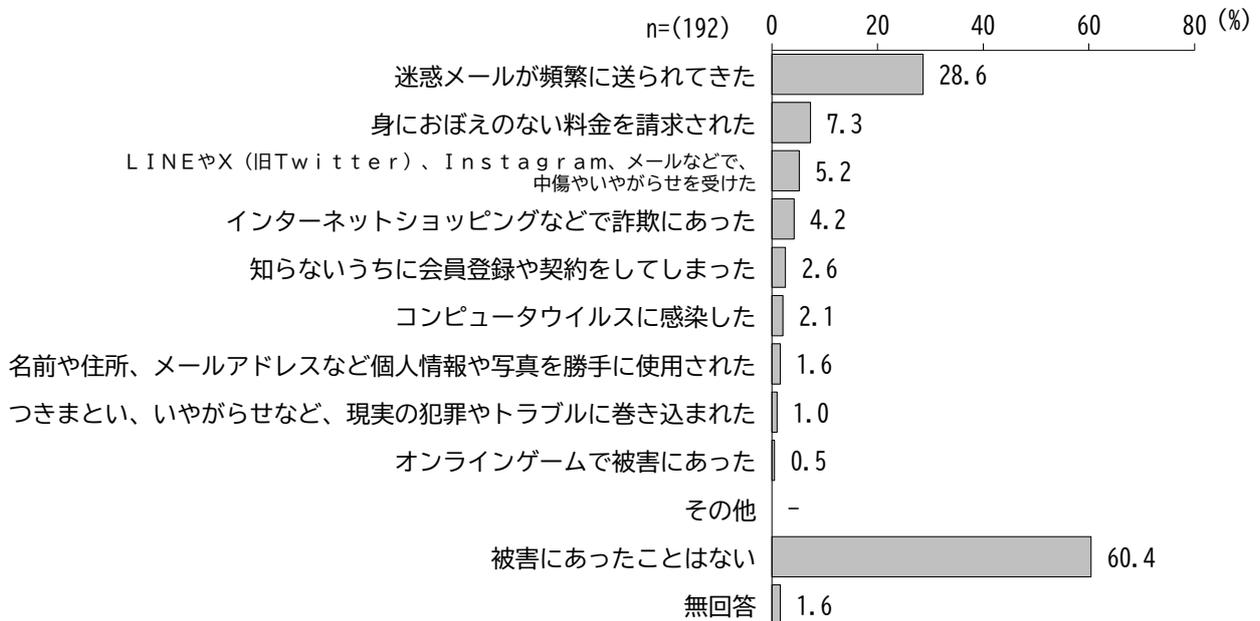


デジタル機器等の使用目的は、「動画やウェブサイトを見る」と「LINEやX (旧Twitter)、InstagramなどのSNSを使う」がともに81.8%で最も高く、次いで、「音楽を聴く」が67.7%で、「友達とメールや通話をする」(58.9%)、「家族とメールや通話をする」(54.2%)、「写真を撮る」(51.6%)が5割台となっている。

(3) 携帯電話やスマートフォン等でのインターネット利用時のトラブル

【問17で「30分以内」～「6時間以上」を選んだ方のみ】

問17-2 携帯電話やスマートフォンなどでインターネットを利用して、次のようなトラブルにあったことがありますか。(いくつでも)

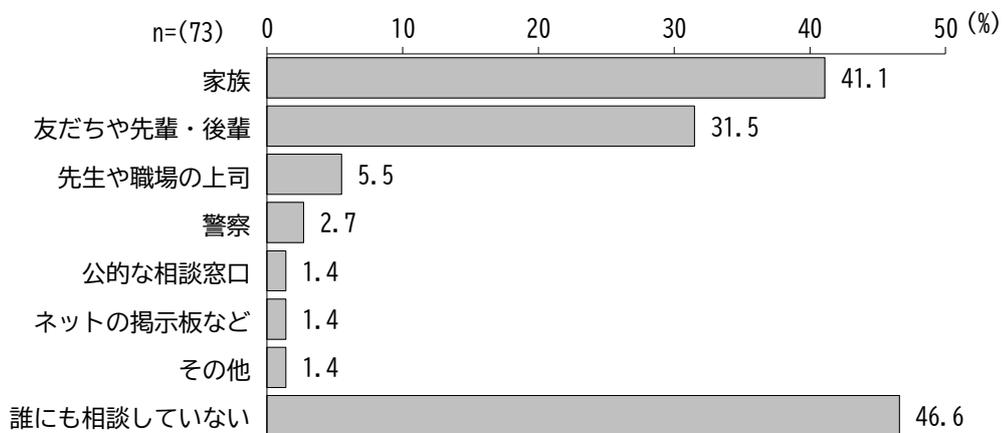


デジタル機器等でのインターネット利用時のトラブルは、「被害にあったことはない」が60.4%となっている。あったものでは、「迷惑メールが頻繁に送られてきた」が28.6%となっており、それ以外は1割未満となっている。

(4) トラブルにあった時の相談相手先

【問17-2で“何らかのトラブルにあった”（「被害にあったことはない」以外）の選択肢を選んだ方のみ】

問17-3 あなたは、トラブルにあった時、誰かに相談しましたか。(いくつでも)



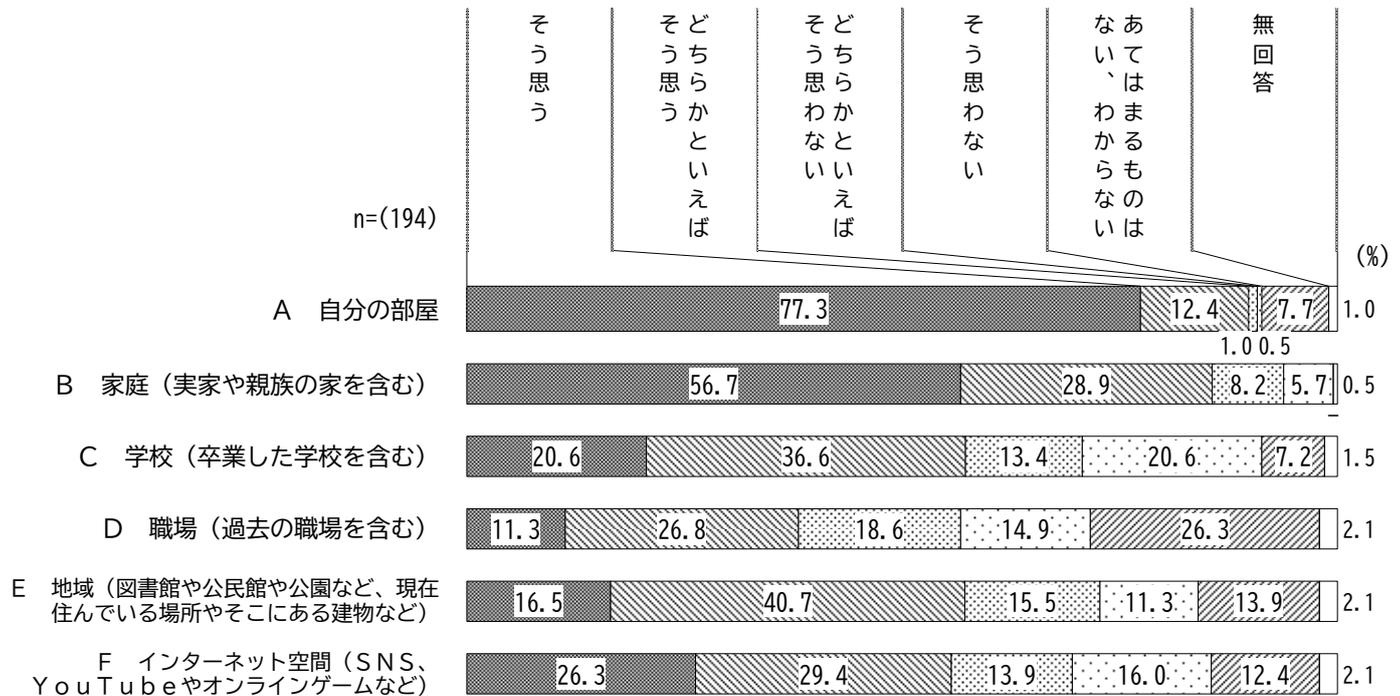
インターネットの利用による何らかのトラブルにあった人の相談先としては、「誰にも相談していない」が46.6%となっている。相談をした人では「家族」が41.1%、「友だちや先輩・後輩」が31.5%となっており、それ以外は1割未満となっている。

7. 居場所について

(1) 安息の場

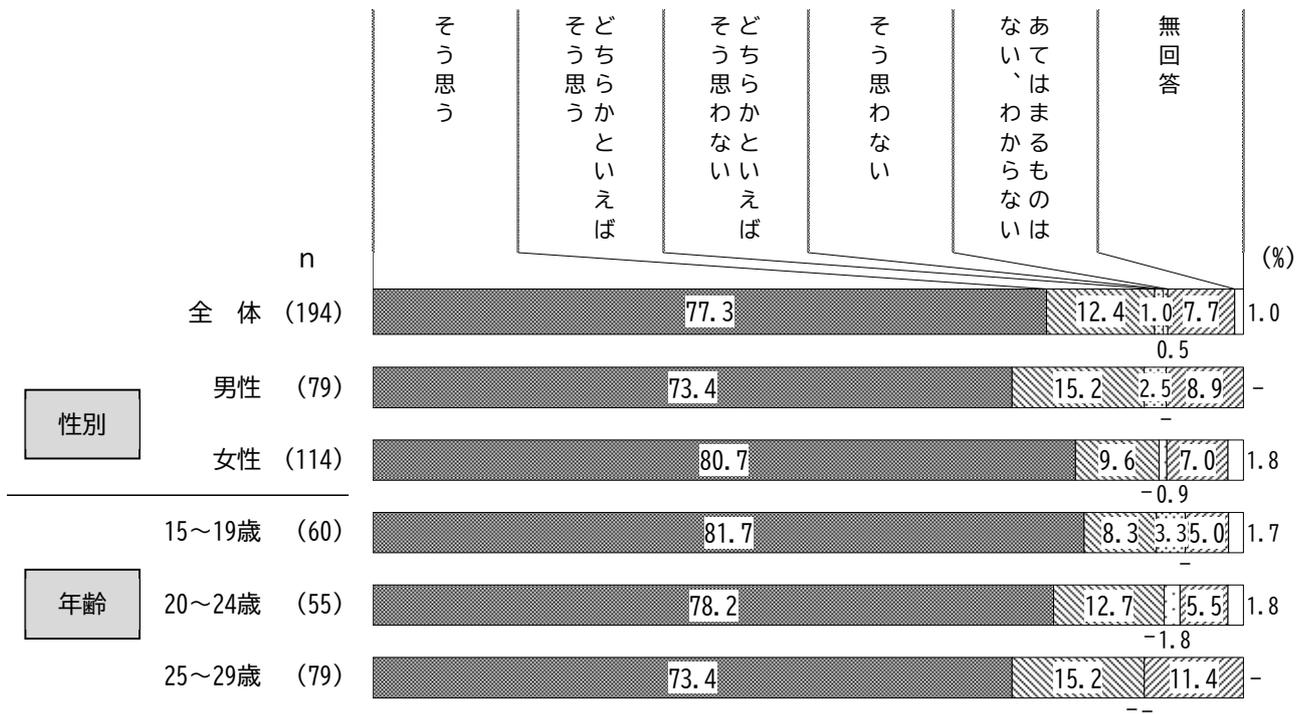
問18 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地の良い場所など）になっていますか。

【A～Fのそれぞれについて、あてはまるものを1つお答えください。】

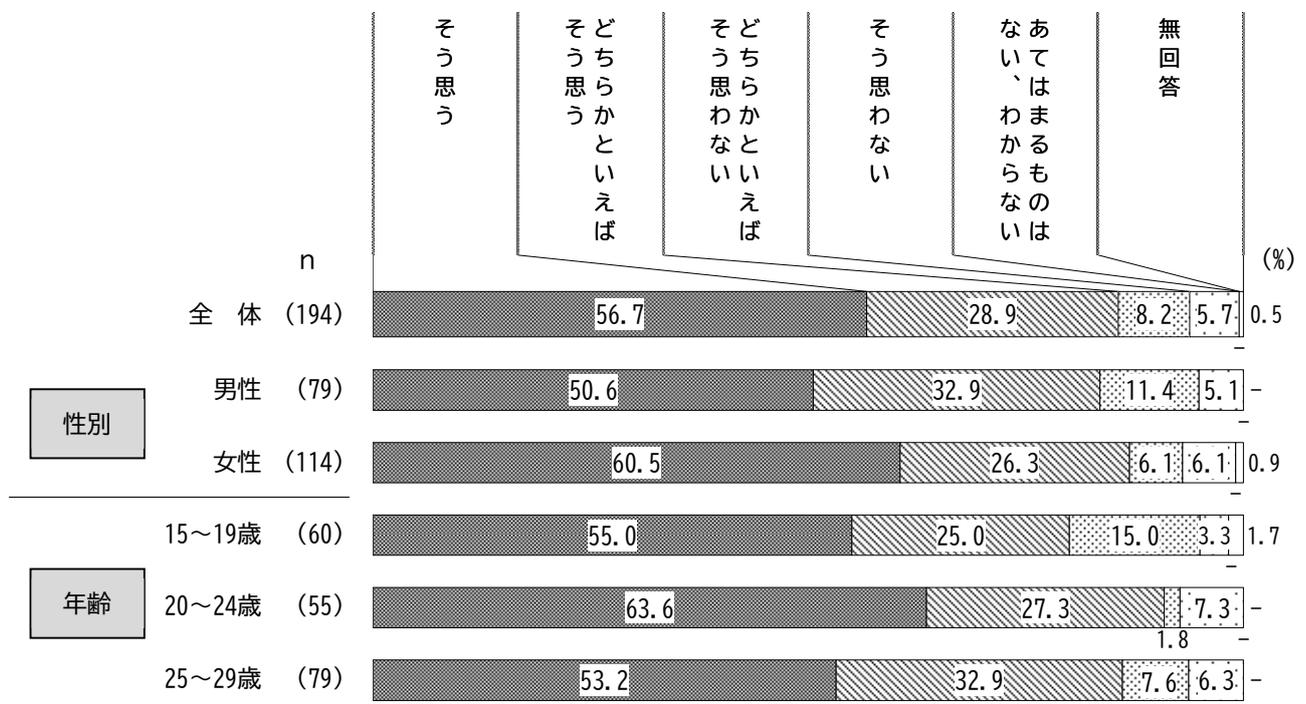


自分にとっての居心地の良さを場所別に聞いたところ、「そう思う」は“A 自分の部屋”が77.3%、“B 家庭（実家や親族の家を含む）”が56.7%となっている。「どちらかといえばそう思う」をあわせた『そう思う』でみると、“D 職場（過去の職場を含む）”以外はいずれも半数を超え、特に“A 自分の部屋”（89.7%）や“B 家庭（実家や親族の家を含む）”（85.6%）は8割台となっている。一方、『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の計）は、“C 学校（卒業した学校を含む）”、“D 職場（過去の職場を含む）”が3割台となっている。

〈 性別、年齢別／“安息の場～A 自分の部屋” 〉

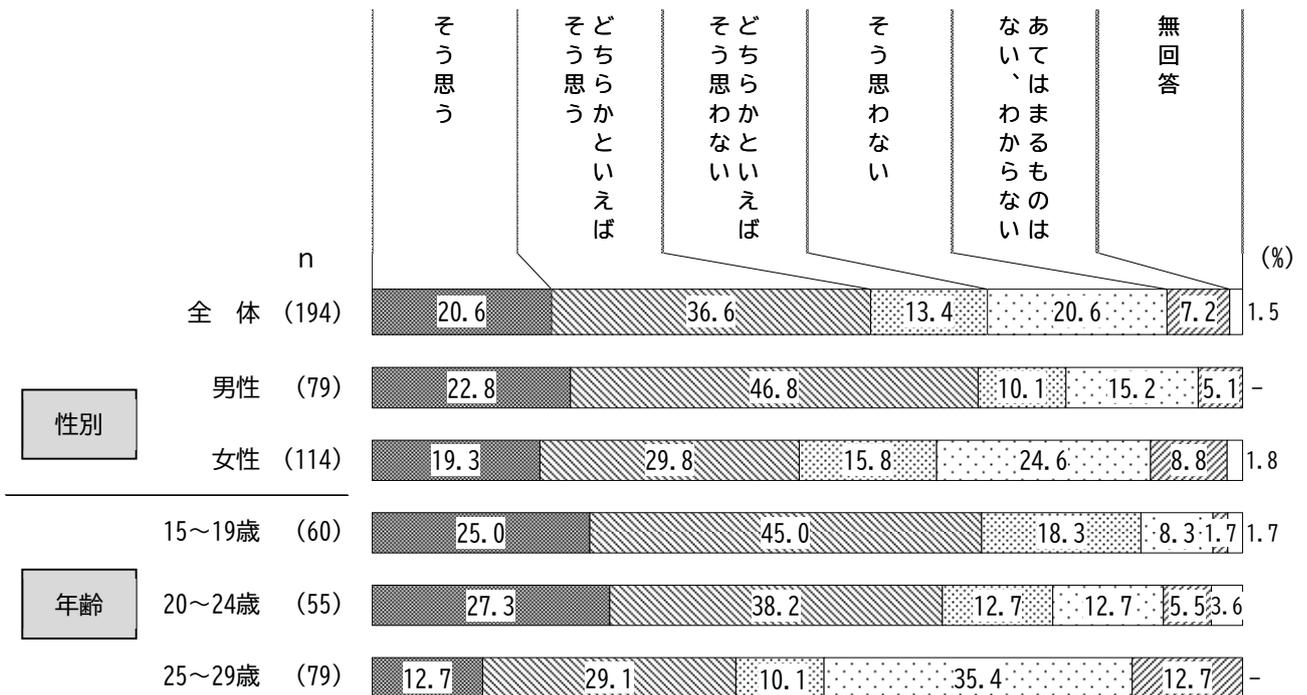


〈 性別、年齢別／“安息の場～B 家庭（実家や親族の家を含む）” 〉

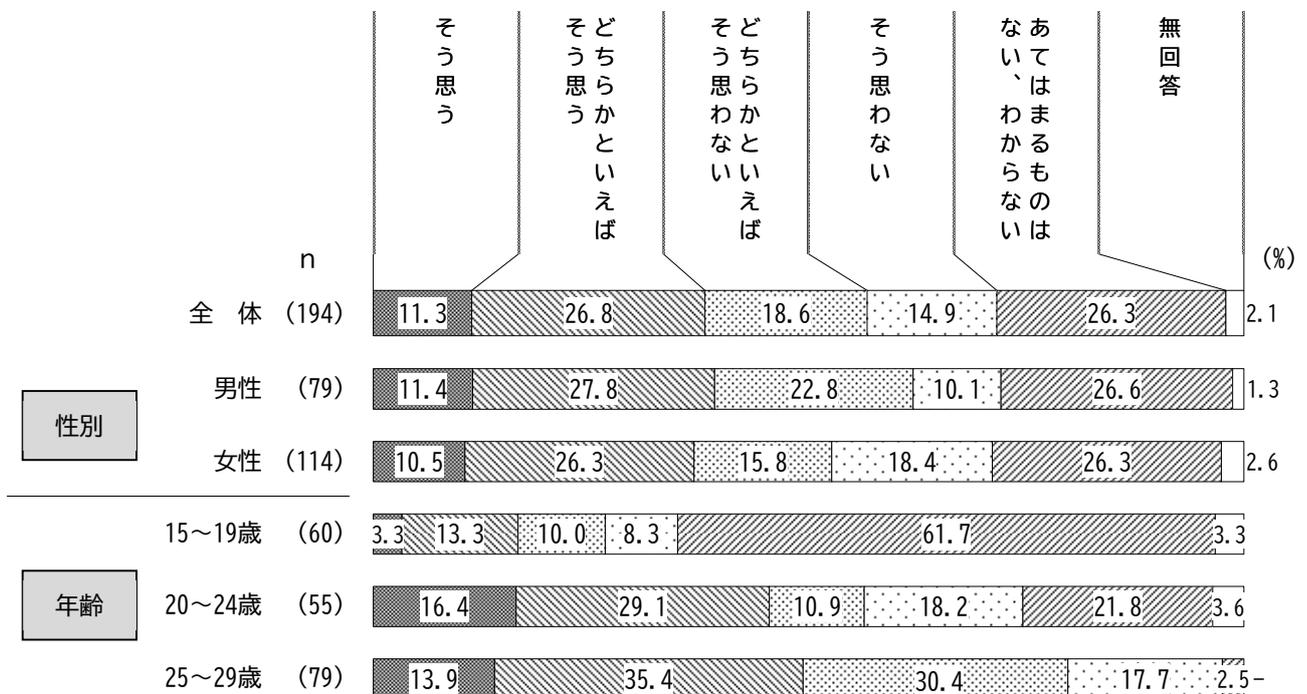


第2章 調査結果の詳細

〈 性別、年齢別／“安息の場～C 学校（卒業した学校を含む）” 〉

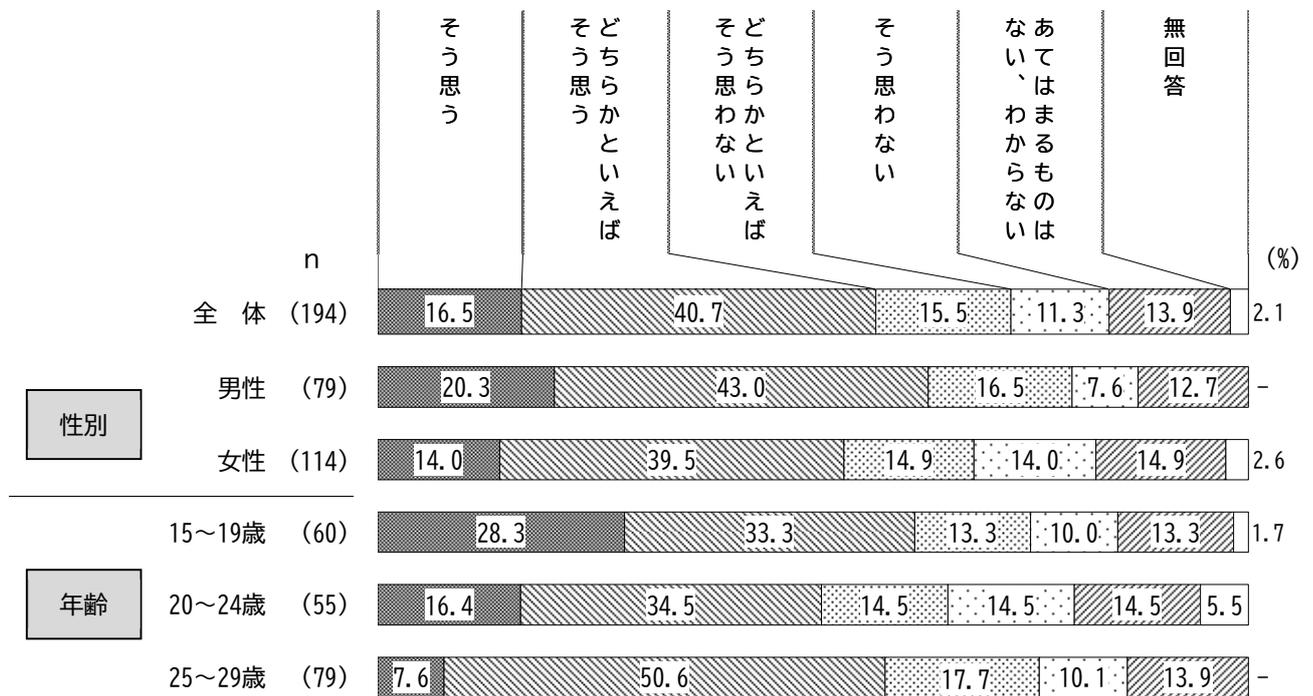


〈 性別、年齢別／“安息の場～D 職場（過去の職場を含む）” 〉



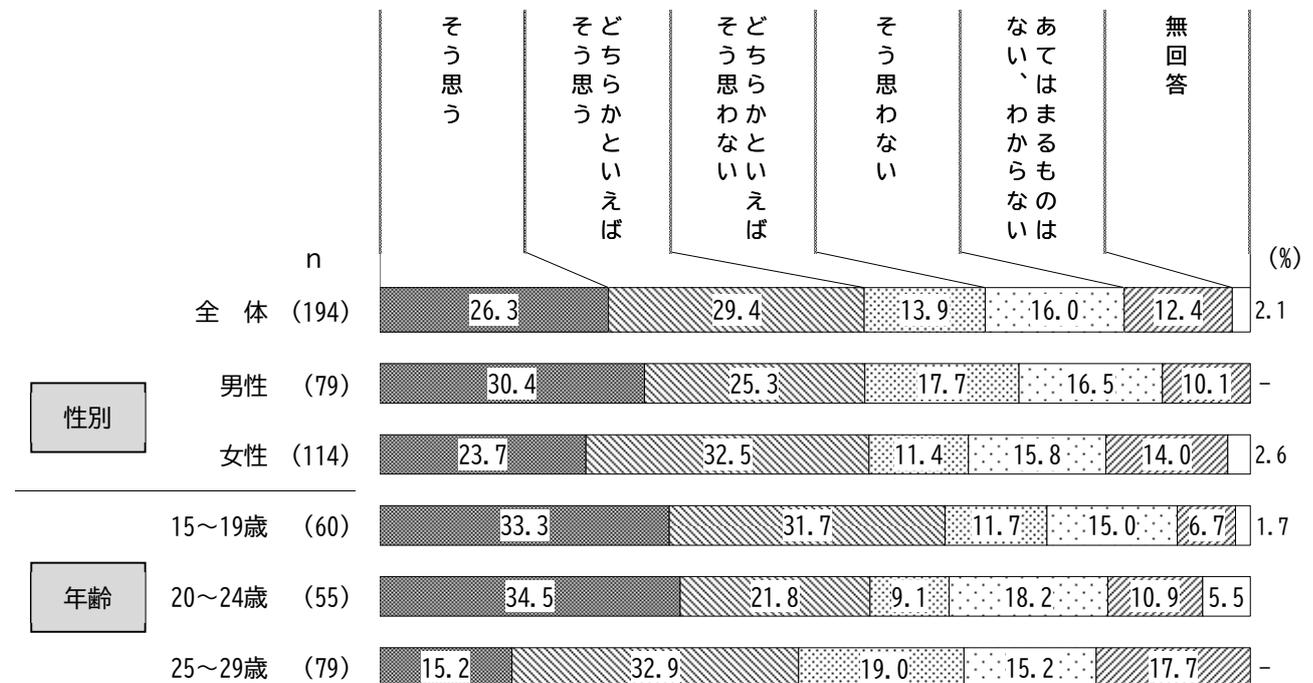
〈性別、年齢別／

“安息の場～E 地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）” 〉



〈性別、年齢別／

“安息の場～F インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲームなど）” 〉



第2章 調査結果の詳細

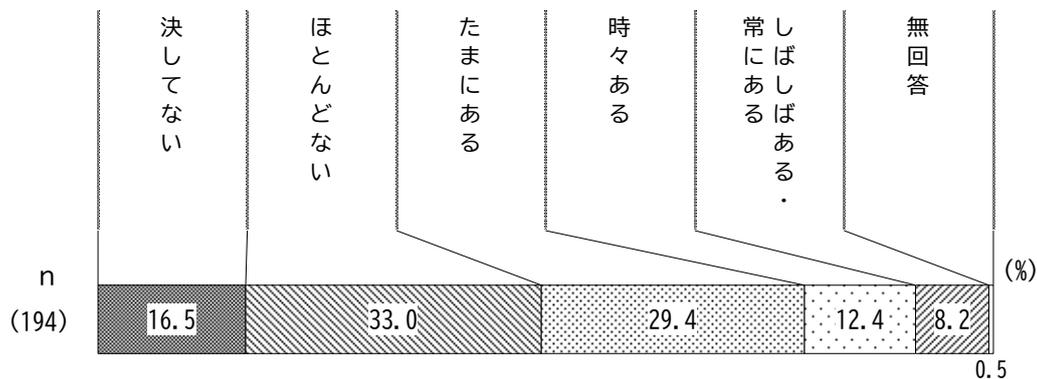
性別、年齢別にみると、『そう思う』は、“A 自分の部屋”と“B 家庭（実家や親族の家を含む）”が8割以上となっており、性別や年齢に関わらず好ましい場所となっており、“E 地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）”や“F インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲームなど）”でも概ね5割以上の割合が多くなっている。

“C 学校（卒業した学校を含む）”を性別にみると、『そう思う』は男性（69.6%）が女性（49.1%）を20.5ポイント上回っている。年齢別にみると、『そう思う』は15～19歳で70.0%と高いが、年齢が上がるにつれて低くなる。25～29歳では、『そう思う』の割合が41.8%で他の年齢より低く、『そう思わない』の方がやや高くなっている。

“D 職場（過去の職場を含む）”は男女間で大きな差はみられない。年齢別にみると、『そう思う』、『そう思わない』ともに25～29歳で5割近くとなっており、年齢が下がるにつれて低くなっている。

（2）孤独感の自覚

問19 あなたは、孤独であると感じることがありますか。（1つだけ）



孤独感が「決してない」は16.5%、「ほとんどない」は33.0%となっている。一方、孤独感が「たまにある」は29.4%、「時々ある」は12.4%、「しばしばある・常にある」は8.2%となっている。孤独感を感じていない人（49.5%）と感じている人（50.0%）はほぼ半々となっている。

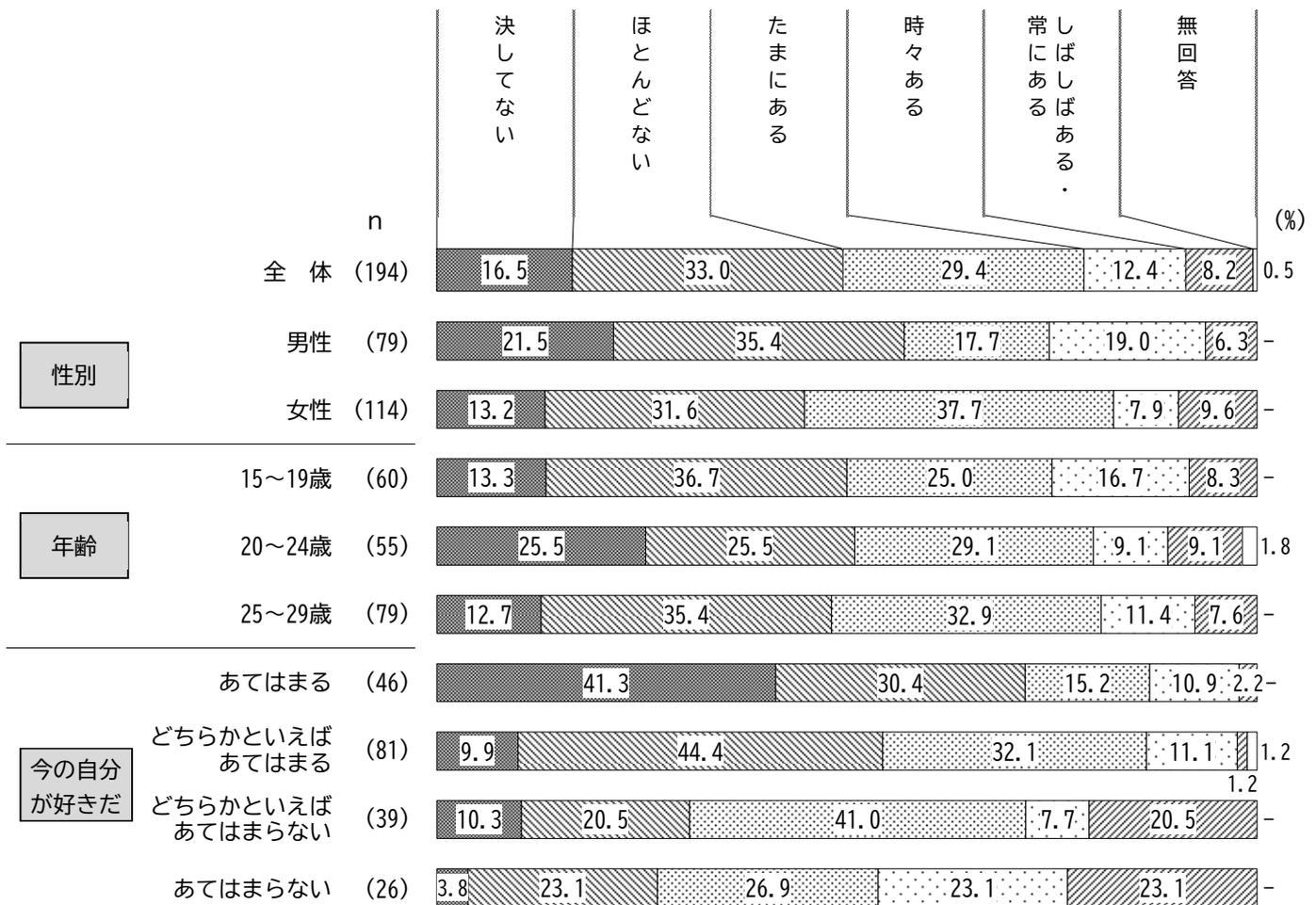
〈参考 「令和5年度孤独・孤立の実態把握に関する全国調査」（内閣府）〉

※公表されている年代別データを16歳～29歳（1,141人）で加工

決してない	ほとんどない	たまにある	時々ある	しばしばある・常にある	無回答
23.0%	33.9%	19.3%	16.6%	6.7%	0.4%
57.0%		42.6%			0.4%

対象：満16歳以上個人20,000人／有効回答数：11,141人

〈 性別、年齢別、今の自分が好きか別／“孤独感の自覚” 〉



性別にみると、男性では孤独感を感じていない人（56.9%）が女性（44.8%）を12.1ポイント上回り、反対に、女性では孤独感を感じている人（55.2%）が男性（43.0%）を12.2ポイント上回っている。

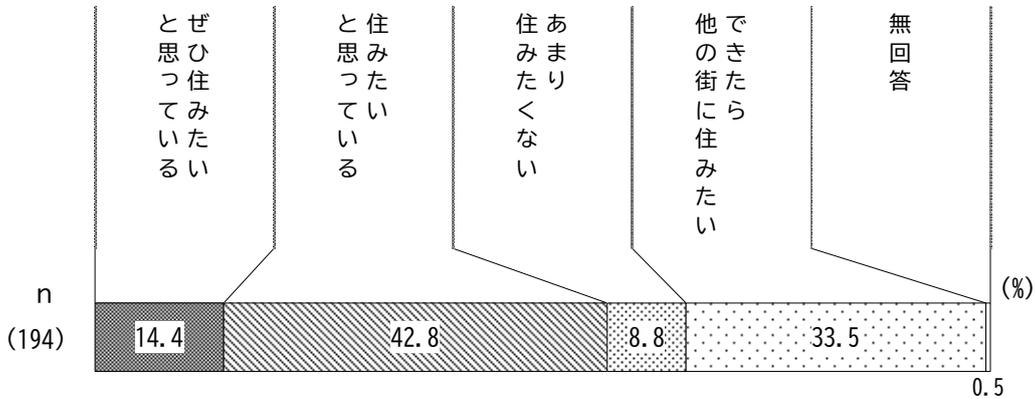
年齢別にみると、年齢による大きな差はみられないが、孤独感を感じている人と感じていない人はいずれの年齢でもほぼ半々となっている。

今の自分が好きか別にみると、自分が好きな層では孤独感を感じていない人の割合が高く、自分が好きではない層では孤独感を感じる人の割合が高くなっている。

8. 将来のことについて

(1) 宮代町での定住意向

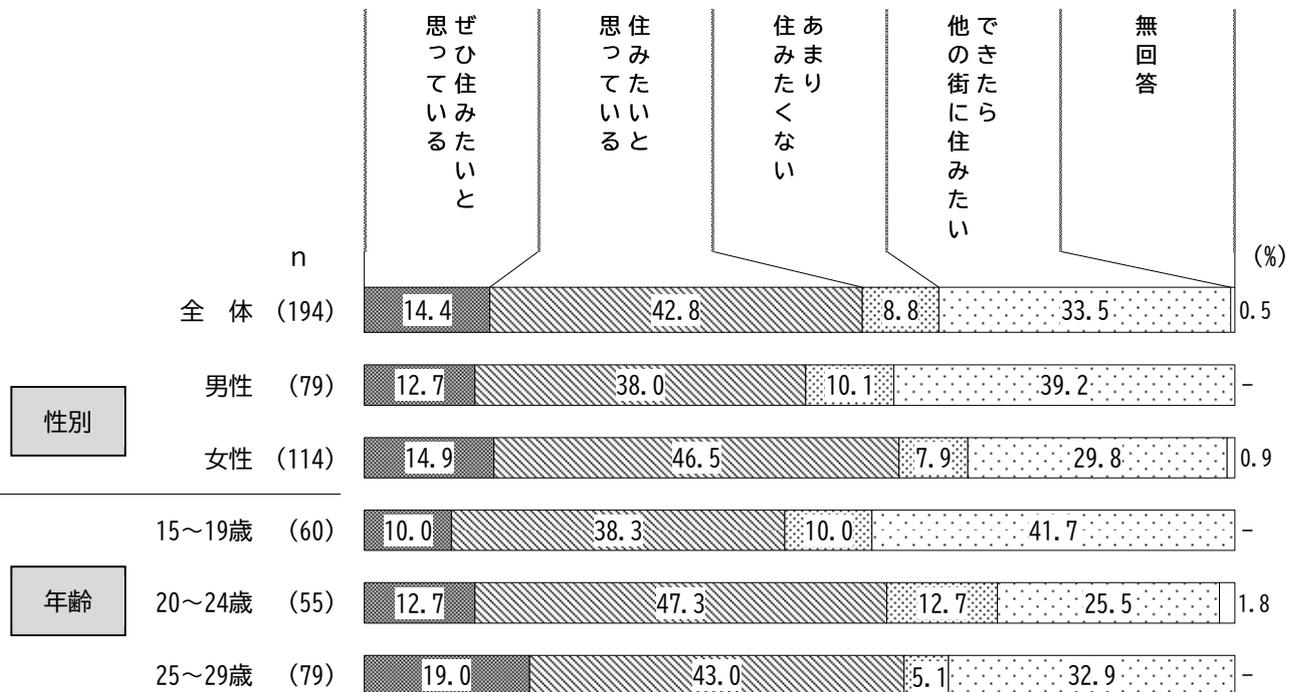
問20 あなたは、将来的にも宮代町に住みたいと思っていますか。(1つだけ)



将来的にも宮代町に「ぜひ住みたいと思っている」は14.4%、「住みたいと思っている」は42.8%で、両者をあわせた『定住意向（高）』は57.2%、一方、「あまり住みたくない」は8.8%、「できれば他の街に住みたい」は33.5%で、両者をあわせた『定住意向（低）』は42.3%となっている。

参考に、町が令和元年度に実施した「住民意識調査」の18歳、19歳を含む20歳代以下の定住意向の設問結果では、『定住したい』（該当調査の表記のまま）が64.6%、『移転したい』が35.5%であった。

〈 性別、年齢別／“宮代町での定住意向” 〉

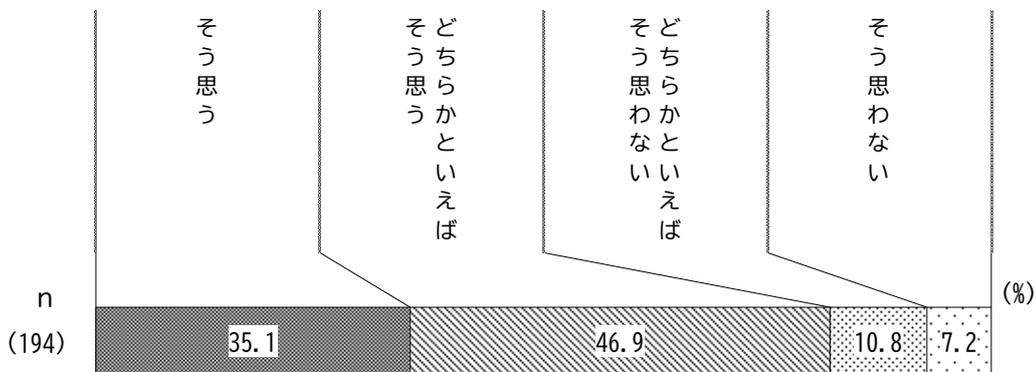


性別にみると、『定住意向（高）』は女性が61.4%で男性（50.7%）を10.7ポイント上回る。男性では『定住意向（高）』と『定住意向（低）』が5割前後でほぼ半々となっている。

年齢別にみると、15～19歳では『定住意向（高）』が48.3%と他の年齢より低くなっている。20～24歳、25～29歳では『定住意向（高）』が6割台となっている。

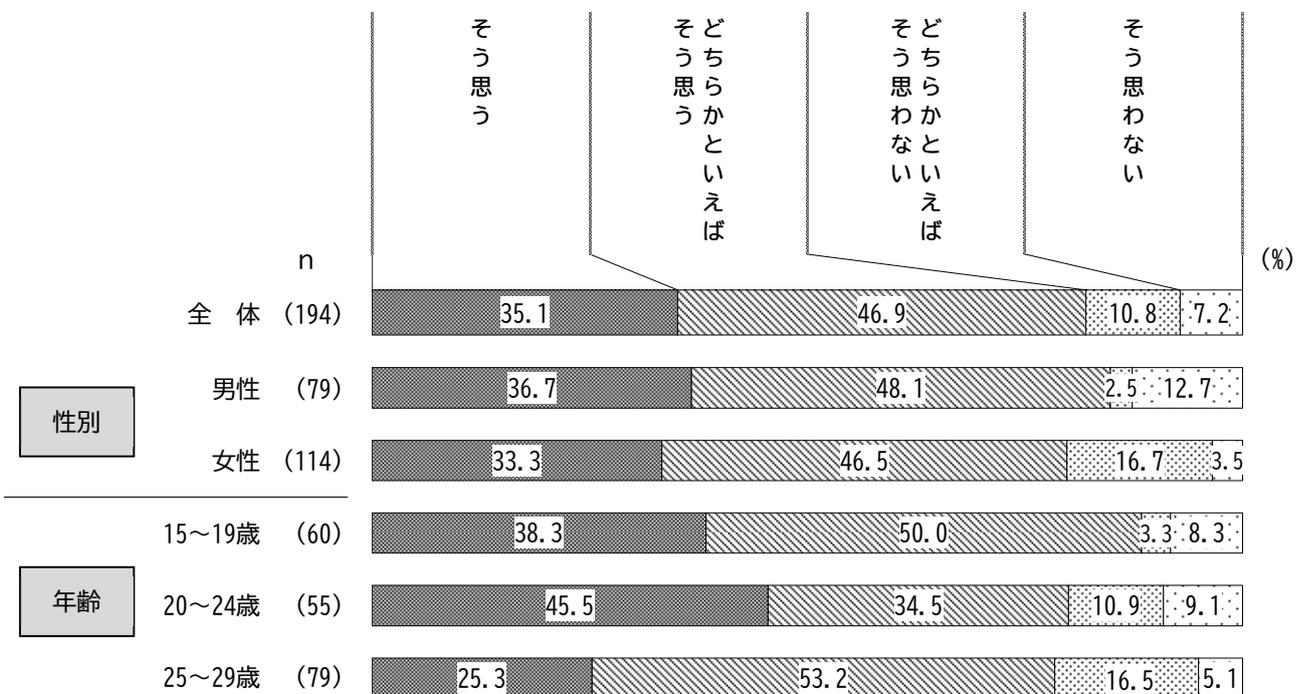
(2) 社会貢献への意向

問21 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。(1つだけ)



社会のために役立つことをしたいと思うか聞いたところ、「そう思う」は35.1%、「どちらかといえばそう思う」は46.9%で、両者をあわせた『そう思う』は82.0%となっている。一方、『そう思わない』（「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の計）は18.0%となっており、社会貢献をしたいと思っている人の方が多い。

〈 性別、年齢別／“社会貢献への意向” 〉

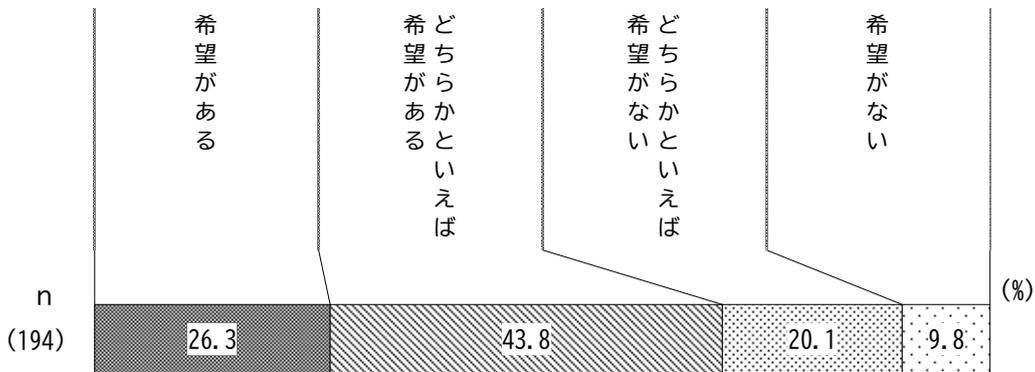


性別にみると、『そう思う』は男女ともに7割以上となっている。

年齢別にみると、20～24歳では「そう思う」が45.5%と他の年齢より高い。『そう思う』ではいづれの年齢も7割以上となっている。

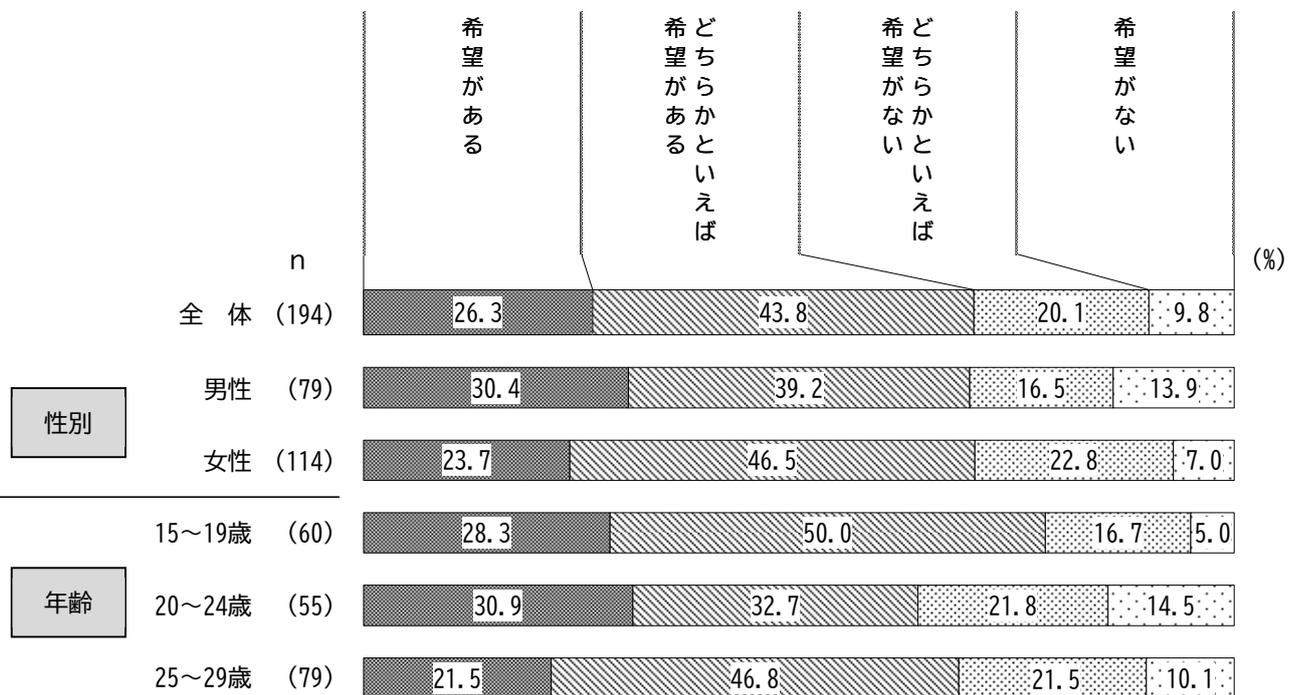
(3) 将来への明るい希望の有無

問22 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。(1つだけ)



自分の将来について明るい「希望がある」は26.3%、「どちらかといえば希望がある」は43.8%で、両者をあわせた『希望がある』は70.1%となっている。一方、『希望がない』（「どちらかといえば希望がない」と「希望がない」の計）は29.9%となっている。

〈 性別、年齢別／“将来への明るい希望の有無” 〉



性別にみると、『希望がある』は男女ともに7割前後となっている。

年齢別にみると、『希望がある』はいずれの年齢も6割以上で、15～19歳では78.3%と他の年齢より高くなっている。

9. 自由記述

(1) 若者に関する施策でふだん感じていることや意見等

問23 最後に、若者に関する施策について、ふだん感じていることやご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

若者に関する施策について、ふだん感じていることや意見・要望を自由に記述してもらったところ、59件の記載があり（特になし等を除く）、下記に全文を分類した。

1人で2つ以上の分類にわたる記述があった場合、それぞれを1とカウントしているため、件数は延べ件数となる。

若者のための施策（8件）

- ・私個人に限らず、物価が高い中で給与も上がらず、生活していく事がやっとであると感じている若者がたくさんいらっしゃると思います。これが晩婚化や少子高齢化の原因であるとおもいます。まだまだ日本社会は、景気が悪いままですが、少しでも現在の若者に経済的支援を充てられる環境や政策ができる事を望んでいます。
- ・現状の施策について疑問に思っていることが多々あります。会社経営、家庭ともに収支について、あらゆる部分のやりくりを行っています。今一度、見直しを行うことが必要ではないでしょうか。若者が真に活躍できる社会を築く、取り組むのであれば、新社会人となる方たちが生きることを諦めない何かが必要です。
- ・個々にある法令、また確立した支援策はあるのだろうが、それらを網羅的範囲として、独立し示していただきたいです。現状、何かしらの支援となれば、学生・求職者・失業者・障害者・ニート・引きこもりといった何かしらの肩書きが必要になるのではないかと思います。これらの「一部の」若者を切り離し対象にするのではなく、「すべての」若者を対象とした制度改革を並行し熟考いただきたい。現場において支援にあたる人々、政治や行政において政策形成にあたる人々を念頭に、支援者が具体的な立案を行い、また、政策決定者がそれぞれの部署において政策を確立していくことで、若者政策は恒久的なものとなり、活動が安定し、その結果、若者を真に支える環境ができ上がるのではないかと期待します。
- ・若者に残って欲しいと思わせる施策は感じられない。もし実施しているのであれば、伝わってこない。無いのであれば利便性の高い場所に引っ越すことを考えると思う。
- ・若者に農業をし易いような支援があれば良いと思う。
- ・未成年の子どもへの施策が多く見られる気がするが、20代や30代の人への施策がぱっと出てこないぐらい少ない（認知されているのかどうか分からない）。
- ・若者に関する施策について、普段生活していて何か感じるものは無い。若者に対して何か行っているのかもしれないが、そこまで強く恩恵を感じてはいない。
- ・若者同士が気軽に交流できる場所を提供してほしい。

子育て支援（8件）

- ・子どもがいるので、自身を若者と呼んでもよいかどうかですが…近隣の市町村に比べて子育て支援が充実していないと感じる。（保育センターは、一人ひとり見て下さるので満足です。また、支援センターの行事も予約できるので満足です。）例えば、春日部市は市内の赤ちゃん休憩所をHP上で記載しているなど、外出しやすそうに感じる。宮代町は、子どものおむつ変えるスペースも少ないと思う。また、「パパママ応援ショップ優待カード」（埼玉県）を持っていても使える所が少ない。駅前で使える（東武ストア）と思いきや現金会計のみ。子育て世代は、キャッシュレス人口が多いのではないのでしょうか。これは、町の福祉ではなく、企業努力によるものなので、関係ないかもしれません。土日に開院している病院が少ないことや小児科が少ない、信号無視する老人が多いなどで（事故になりそう）、子どもの安全が守れない心配があるので、宮代町には永住できないかなと思います。地元が宮代町ではない者からすると、住民は他の魅力のある市町村に流れてしまうと思います。流山市のような都市は魅力です。すべてが市内完結するのが良いと思う（本当なら、町内でお金を使いたいの）。流山市の送迎保育ステーションが宮代町にもあれば良いです。
- ・子育て世代への支援
- ・エンドユーザーの声をもとにした出産や子育てへの支援、配慮をシンプルに適切に行ってほしい。
- ・少子高齢化対策とよく謳っているが、実際には検討ばかりで辟易している。子育て支援金が3人めから増額されるという話もあるが、現実には金が無いから結婚も出来ないし子どもも増えない。なので、一人め時点から支援金を増やす等をしないと効果は見込めないと思っている。
- ・私は仕事も子育てもがんばりたいと思っているのですが、子どもを保育園に預けるとなると、どうしても仕事を制限(皆が残業している中、早上がりさせてもらうなど)しなければなりません。そうになると、昇進もできません。そんな様子を見ているからこそ、子どもはいらないと考える女性も多いのではないのでしょうか。子どもか、キャリアか、どちらかを犠牲にしなければならない世の中はおかしいです。働くママにもっと寄り添って欲しいです。病児保育の充実や、保育時間の延長など検討していただきたいです。3歳からは保育料無料ですが、3歳までの保育料も無料にしてください。保育料を支払うために仕事をしているのか、と思うことが時々あります。どうかぜひ働くママへの施策を検討ください。よろしく願いいたします。
- ・子育てに対する施策が不十分すぎる。実家が遠くて頼りにくい家庭でも安心して子育てできる環境を整えてもらいたい。うまく行っている市町村を参考にして子育て支援を充実させてほしい。
- ・これから生まれて来る子ども達への投資をしなければ町に未来はないと思います。子ども達への支援や施策が結果として親の若者世代への支援になり、そこで生まれた時間やお金が結果として高齢者世代を支えることになると思います。その支援が子育て世代が住みたいと思える町になることが、ひいては宮代町の為にもなります。小さい町で財源は限られているからこそ、ひとつに的を絞ってお金を使っていく事しか宮代町の未来はないと思います。
- ・子どもがどんどん少なくなるのは、政府がやっている風を出しているだけで、実際には全然出来ないからだと思う。所得制限などかけず、いろいろな支援をすればあともう1人と、子どもを産む家庭が増えると思う。なので、将来の日本のためにも子どもの為の政策をしてほしい。

まちづくり、公園（8件）

- ・公園の数の減少や、公園や広場でのボール遊びなどの行動制限は子どもにとってよくないと感じる。
- ・百間小学校区と須賀小学校区に住宅を増やして欲しいです。児童・生徒数の偏りがずっと気になっている。
- ・和戸駅西口が無い為、雨の日の東口駅前ロータリーもなく大変危険です。朝乗れるはずの電車も乗れません。不便を感じ、宮代町を離れる友人は大変多いです。どうか西口を作って下さい。
- ・メインの進修館や東武動物公園駅の前だけを開発するのではなく、宮代の端なども開発するのを感じられます。
- ・住んでみると良い町だが、住み良い町であると思わせる要素が少ないと思う。
- ・子どもたちに優しい町にしてほしい。
- ・都内で働くには遠すぎるので、お金に余裕がある若者は流出してしまうと思います。実家があるからこそ住んでいますが、子どももおらず都内に働きに出ている者とすれば、正直宮代町に住むことに旨味は無いと感じます。私は宮代町が好きなので、交通の便さえクリアできれば(その部分を超える施策等があれば)将来も住み続けたいと思っています。
- ・宮代町に残り続けたいような、まちづくりをしてほしいです。

情報提供・PR（6件）

- ・アンケート（問8）の回答をして、私自身、若者に関する施策への知識が得られていないことを知りました。年代別の広報紙（または広報紙内のコーナー）がないと、自ら積極的に情報収集しない限り、若者に関する施策の知識は増えていかないと感じました。ターゲットを絞った情報発信で、必要な情報を得やすい仕組みを考えてもらいたいです。
- ・若者に関する施策として、どのような事業が推進されているかがよく分からない。地域の（宮代町の）大学生に何か施策があったら知りたい。
- ・若者に関する政策として何があるのか知らない人がいるから、若者にも伝わるようにSNSなどで発信した方がいいと思った。
- ・若者に対する対策について考えたことがない。そもそも見えない。
- ・どのような議題を話しているのかを知る機会を増やして欲しい。
- ・宮代町の若者に関する施策についてよく知らなかったのを調べてみましたが、いまひとつ何をやっているか分かりませんでした。

医療関連（6件）

- ・不妊治療をしており、保険適用となったが、毎月手取分の給与が、医療費として出ていってしまう。町で支援してくれると、治療を前向きに行える。
- ・若者に関する施策とは違うと思いますが、病院（小児科や耳鼻科など）が少ないと感じます。昨年、引っ越してきましたが子育てしにくいと1番感じる部分です。のどかで市役所や包括支援センターの方々は、とても優しく素敵な町だと思っています。今後、改善されることを祈っています。
- ・産婦人科が少ない。保育料が高い。

第2章 調査結果の詳細

- ・年に一回ほど眼科、歯科の検診を無料で受けられるシステムがあったら嬉しいと思う。
- ・私生活においては病院に限られており、町外にかかることが多い。
- ・また、宮代町に病院を誘致できないのであれば、車を持ってなくても町外への小児科へ行くためのタクシーチケットの交付や送迎サービス、訪問医療制度の導入などが欲しい。妊婦後期の健診も同様で。

講座・教室・イベント（4件）

- ・休日に地域や町でお菓子作りや料理教室が開催（参加費 500 円などの町でやっているような）があればぜひやりたいので開催の検討をお願いします。
- ・私自身、子どもがまだいないので若者の施策と言われても、ピンと来ない所があります。ですが、車を走らせていると、ピアシティ宮代の辺りでここ数年、家族連れが多く遊んでいる光景をよく見かけるようになったと感じました。要望としまして、過去に町のかかるた大会でお手伝いをした経験がありますので、私の年齢からでも良くて、かつ参加できる機会があれば、また広報等でお知らせいただきたいです。話がずれてしまい、すみません。宮代町は、非常に住みやすい町だと思っています。
- ・以前無印前広場で行われていたイベントで、日工大の方が企画・開催にたずさわっているということを目にしてとてもいいな、応援したいなと思いました。若者を巻きこんで町づくりをするのはいいですね。若い方のエネルギーはすごいですから。これからも応援したいです。
- ・婚活の催しに未成年以外の年齢制限はない方がいいと思う。

遊興・娯楽、商業施設（4件）

- ・遊ぶ所が少ない。
- ・温泉に入れる場所つくってほしい。
- ・宮代町にみんなで遊べる場所を作してほしい。お店をもっと増やしてほしい。
- ・若者が好むショッピングモールなどが少ないと感じる。

税金（3件）

- ・住民税が都心並みに高い。
- ・私は若者の分類に入りますが、働いても税金を多く取られてしまって生活が苦しいです。税金を取られることへの不満はないのですが、恩恵がほとんど感じられないのをどうにかしてほしいです。
- ・何事にも税金を徴収されています。一所懸命働いているのに働きにあっていない賃金に引かれる税金。若者にばかり負担をかけすぎている気がします。（こちらに書くのがあっているかわかりませんが）町だけの責任ではないと思いますがどうにかしてもらえたら嬉しいです。

行政全般（3件）

- ・我が国に対する不満としては、主に宮代町の支援制度は他の町よりは発展していると役場を見て感じている。しかし、古い考えの人間が幹部に多く、判断がにぶったり、新たな改革を打ち出す若者の意見が年寄りにより消されたりしている。投票などもX（旧ツイッター）などによるアンケートと、既存の紙を使うやり方とハイブリッドにすべきだ。
- ・国への不信感が強いです。宮代町に対しては、役場に行っても親切に対応してもらったり、ワクチン対応も迅速だったりと信頼しています。
- ・我々若者の時代であるので、町議会議員をはじめとした議員には若い人等が多くなることを願います。

防犯・防災（2件）

- ・宮代町は、最近スーパー、ドラッグストアができたり、気づいたら家が建っていたりと他市町村から移住してくるには、良いと思います。交通の便も良いのですが、街中全体が夜、非常に暗い（街灯がない）印象を受けます。学園台の辺りは明るいのですが、少し外れると暗い所ばかりです。防犯の面から少々不安を感じます。
- ・夜暗い。横断歩道で車がまったく一時停止をしない。

アンケートについて（4件）

- ・議会選の広報を読んでも、子育て世代か高齢者に向けたアピールが多いと感じました。そこに当てはまらない未婚の若者世代がすっぽり抜けていると思います。このアンケート結果が活用された施策が生まれることを期待します。（良くも悪くも、こんなことを聞いてどうするのだろうという設問もあったので）
- ・今回アンケートをやってみてやりやすいと思ったので、自分たちの意見を伝えるためにも、これからも続けてほしいです。ありがとうございました。
- ・こういったアンケートは手に取る機会があるので、アンケートの最後に、現在は若者向けにこういった活動や施策をしているのかご教示いただけると嬉しいです。
- ・本調査については、宮代町役場のホームページ、もしくは本調査の委託会社のホームページに調査実施中である旨を掲載したほうが回答者は増えると思います。

その他（3件）

- ・塾に通っていないため、夜まで勉強できる公共スペースが欲しいです。
- ・宮代町に4年ほど居住し、もうすぐ引越し予定です。厳しいことを言わせていただきますが、ゴミの分別がすごく大変で、長く住むにはあまり適していない町だなと思いました。一方で自然豊かで東武動物公園のあるこの町で過ごす時間は楽しかったです。個人的な話になり恐縮ですが、私は配偶者との結婚、そして離婚という大きなイベントを経験したため、将来的に宮代町に戻ることは難しいと考えています。まともななくてすみません。4年間ありがとうございました。
- ・宮代町はまだ人に寄り添っていてくれるような感覚があるので住んでいて気が楽です。自分自身の能力の低さ、行動力のなさが原因ではありますが収入が低い日々生きるだけで精一杯、定年後

第2章 調査結果の詳細

に生活するための貯金であったり、ちょっとした旅行に行ったりすることも難しい金額しか手元に入らないので、このアンケートを答えていて少し惨めな気持ちになりました。非課税世帯に金銭的援助をする、という告知を見ると私も仕事を辞め、全てを捨てて生活保護を受けながら生活をすべきなのかなあと思うこともあります。

第3章 調査票

若者の生活と意識に関するアンケート調査 ご協力をお願い

皆さまには、日頃から見童福祉行政に関するご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。このたび、町では、「こども計画（仮称）」を策定するにあたり、その基礎資料とするために、若者の意識等を把握することを目的として、アンケート調査を実施することとなりました。アンケート調査は無記名で実施し、ご回答の内容は統計的に処理いたします。みなさんの日常生活の様子や、考えていることなどをできるだけそのままにお答えください。自由にご記入いただくご意見につきましても、個人が特定されないよう配慮し、プライバシーの保護には万全を期しておりますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年2月

宮代町長 新井 康之

ご記入にあたってのお願い

～必ず読んでからご回答ください～

*このアンケートは、郵送またはインターネット（回答方法は別紙参照）によりご回答ください。

1. ご記入は、宛名のご本人がお答えください。
2. ご回答は、選択肢の番号に○をつけていただく場合と、数字等をご記入いただく場合があります。選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なります。注意書きに従ってご記入ください。また、「その他」に○をつけていただいた場合は、() 内に具体的な内容をご記入ください。
3. 時刻は、24時間制（例：08時～18時）でご記入ください。また、数字は1桁につき1字をご記入ください。
4. 設問によってはご記入いただく方が限られる場合があります。注意書きや矢印に従ってご回答ください。特に注意書きのない場合は次の設問にお進みください。
5. お手数ですが、ご回答を3月13日（水）までにお願いいいたします。郵送の場合は、同封の返信用封筒に入れて、お近くの郵便ポストにご投函ください。切手の貼付や差出人の記入は必要ありません。
6. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいいたします。

お問合せ先

宮代町子育て支援課
電話：0480-34-1111（内線360） FAX：0480-34-1163
e-Mail: children@town.miyashiro.saitama.jp

※郵送により紙の調査票をご回答いただいた方は、インターネットでの回答の必要はありません。
※回答の重複を避けるためにIDを付番しています。個人を特定することはありません。

ID:

基本的な属性等について

F1 あなたの性別を教えてください。(○は1つだけ)

1. 男性 () 2. 女性 () 3. その他 ()

F2 あなたの年齢についてお答えください。※令和5年4月1日現在の年齢をお答えください。(○は1つだけ)

1. 15～19歳 () 2. 20～24歳 () 3. 25～29歳 ()

F3 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。なお、「配偶者」には、婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻と同様の状態にある方を含めます。(○は1つだけ)

1. 未婚 () 2. 配偶者あり () 3. 配偶者と死別 () 4. 配偶者と離別（離婚） ()

F3-1 【F3で「1」に○をつけた方のみ】

あなたは、将来、結婚したいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 結婚したい () 2. 結婚したくない () 3. わからない () 4. その他 ()

F4 現在、あなたと同居している方をお答えください。(○はいくつでも)

※あなたからみた続柄で○をつけてください。
※里親や児童養護施設などで暮らしている方は、「12 その他」をお選びください。

1. 父 () 2. 母 () 3. 兄弟姉妹 () 4. 祖父母 () 5. 配偶者（パートナー） () 6. あなたの子ども () 7. その他親族 () 8. 恋人 () 9. 友人 () 10. 親の再婚相手、同居家族の内縁者 () 11. 学生寮、社員寮 () 12. その他 () 13. 同居している人はいない（単身世帯） ()

F5 生計を支えている方は主に誰ですか。また、仕送りや生計を立てている方は、その仕送りを主にしている人をお答えください。(○は1つだけ)

1. あなた自身 () 2. 父 () 3. 母 () 4. あなたの配偶者 () 5. 兄弟姉妹 () 6. あなたの子ども () 7. その他 () 8. わからない、答えられない ()

日頃の考え方や意識について

問4 次の各項目について、あなた自身にあてはまる数字を1つ選んで○をつけてください。

	あ は ま る	あ と ち は ま る い は	あ と ち は ま ら な い は	あ と ち は ま ら な い
A 自分には自分らしさというものがあると思う	1	2	3	4
B 今の自分が好きだ	1	2	3	4
C これまで家族の中で大切に育てられてきたと感じる	1	2	3	4

問5 今、あなたが楽しい(充実している)と感じるのはどんなときですか。(○はいくつでも)

1. 勉強しているとき	9. テレビを見ているとき
2. 働いているとき	10. 食事(飲食)をしているとき
3. 家族と過ごしているとき	11. 買い物をしているとき
4. 本を読んでいるとき	12. 友人と過ごしているとき
5. インターネットやSNS等をしているとき	13. 何もしていないとき
6. ゲームをしているとき	14. その他()
7. 音楽を聴いているとき	15. 特になし
8. スポーツをしているとき	

問6 あなたは現在、困っていることや悩んでいることがありますか。(○はいくつでも)

1. 学校での勉強や成績のこと	11. 性格のこと
2. 進学のこと	12. 容姿のこと
3. 就職のこと	13. 政治や社会のこと
4. 仕事や職場のこと	14. 地域や環境の問題のこと
5. 子育てのこと	15. 収入や生活費のこと
6. 友だちや仲間との人間関係	16. 自分の居場所がないこと
7. 家族関係	17. なんとなく不安であること
8. 恋人との交際に関すること	18. その他()
9. 気分や体調のこと	19. 特に関りごとや悩みごとはない
10. 病気のこと	

F6 あなたの暮らし向き(衣・食・住・レジャーなどの物質的な生活水準)は、世間一般と比べてみて、上から下までのどれにあたりと思いますか。あなたの美観でお答えください。(○は1つだけ)

1. 上	2. 中の上	3. 中の中	4. 中の下	5. 下
------	--------	--------	--------	------

F7 あなたが最後に卒業(中退を含む)した学校はどこですか。在学中の方は、現在在学している学校をお答えください。(○は1つだけ)

1. 中学校	3. 専修学校・専門学校	5. 大学・大学院
2. 高等学校	4. 高等専門学校・短期大学	6. その他()

F8 お住まいの地区は次のうちどちらですか。(お住まいの小学校区1つに○)

小学校区が不明の場合は、お近くの小学校をお選びください。

1. 百間小学校区	2. 東小学校区	3. 笠原小学校区	4. 須賀小学校区
東・中・金原・海井・山崎・西原・鹿宮・川端・笠原・東原居	宮代・百間1～6丁目・中島・道佛・須賀の東小学校区内	本田・中央・笠原・学園台・字百間・東原の須賀小学校区内	和戸・宮代台・国納・西原原・東原の須賀小学校区内

日頃の生活について

問1 平均的な就寝時刻と起床時刻を記入してください。(24時間表記)

就寝	時	分	起床	時	分
----	---	---	----	---	---

問2 朝ごはんを週に何日程度食べていますか。(○は1つだけ)

1. 毎朝食べる	3. 3～4日程度食べる	5. まったく食べない
2. 5～6日程度食べる	4. 1～2日程度食べる	

問3 晩ごはんを週に何日程度食べていますか。(○は1つだけ)

1. 毎晩食べる	3. 3～4日程度食べる	5. まったく食べない
2. 5～6日程度食べる	4. 1～2日程度食べる	→問3-1へ

問3-1 【問3で「1」～「4」(食べる)に○をつけた方のみ】

主に誰と食べることが多いですか。(○は1つだけ)

1. 家族と	2. 家族以外と	3. ひとり
--------	----------	--------

仕事・進路に関することについて

問7 悩みや心配ごとがある場合、あなたは誰に相談しますか。(○はいくつでも)

1. 親 (配偶者の親を含む)
2. 配偶者 (パートナー)
3. 兄弟・姉妹
4. その他の家族・親戚
5. 友人
6. 交際相手
7. 先輩
8. 職場の同僚・上司
9. 学校の先生
10. カウンセラー等の専門家や相談機関
11. インターネットや携帯メールの友人
12. その他 ()
13. 相談する人がいない
14. 誰にも相談しない

問8 こどもや若者に関する政策について、あなたは、自分の意見を聴いてもらえていると思いますか。(○は1つだけ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問9 何でも話せる友人がいますか。(○は1つだけ)

1. いる
2. いない

問9-1 【問9で「1」に○をつけた方のみ】

何でも話せるのはどのような人ですか。(○はいくつでも)

1. 学校で知り合った友人
2. 職場で知り合った友人
3. 趣味など、学校や職場以外で知り合った友人
4. 幼なじみ
5. 近所の友人
6. ネット上で知り合った友人
7. その他 ()

問10 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感をお答えください。(○は1つだけ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問11 あなたは今までに、日常生活や日常生活を円滑に送ることができなかった経験がありましたか。または、現在、日常生活や日常生活を円滑に送れない状況がありますか。(○は1つだけ)

1. 今までに経験があった (または、現在ある)
2. どちらかといえば、あった (ある)
3. どちらかといえば、なかった (ない)
4. なかった (ない)
5. わからない、答えられない

問12 働き方に関連して、あてはまるもの1つを選んで○をつけてください。(○は1つだけ)

1. 働いている (正社員・正職員)
2. 働いている (契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト (学生のアルバイトは除く))
3. 派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない
4. 無職
5. 学生
6. その他 ()

問12-1 【問12で「2」に○をつけた方のみ】

雇用形態について不安なことはありますか。(○はいくつでも)

1. 立場が不安定
2. 収入が不安定又は低い
3. スキルアップが困難
4. 金融機関等の信用を受けにくい
5. 周りからの評価や扱われ方が厳しい
6. その他 ()
7. 不安なことは無い

問12-2 【問12で「2」に○をつけた方のみ】

正社員・正職員として就職したいですか。(○は1つだけ)

1. したい
2. このままでも良い

問12-3 【問12で「3」「4」に○をつけた方のみ】

現在、就職活動や、進学のための勉強などの準備をしていますか。(○は1つだけ)

1. している
2. していない

問12-4 【問12で「3」「4」に○をつけた方のみ】

仕事をしたいと思っていますか。(○は1つだけ)

1. 仕事をしたい
2. 仕事をしたくない

問 15-5 【問 15 で「5」に○をつけた方のみ】

現在の状態について、関係機関に相談したいと思えますか。(○は1つだけ)

- 1. 非常に思う
- 2. 思う
- 3. 少し思う
- 4. 思わない

問 15-6へ

問 15-6 【問 15-5 で「4」に○をつけた方のみ】

相談したいと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)

- 1. 自分のことを知られたくない
- 2. 行っても解決できないと思う
- 3. 何をきかれるか不安に思う
- 4. 相手にうまく話せないと思う
- 5. 相談に行ったことを人に知られたくない
- 6. お金がかかると思う
- 7. 相談する所が近くにない
- 8. その他 ()
- 9. 特に理由はない

問 16 【全員に伺います】

今後、地域社会で参加したいものはありますか。(○はいくつでも)

- 1. 文化活動 (音楽、演劇など)
- 2. スポーツ・レクリエーション活動
- 3. 地域のお祭り・伝統行事など
- 4. 地域の環境整備や防災活動
- 5. 子どもたちの指導・育成活動
- 6. 高齢者・障がいのある人の支援活動
- 7. 国際交流活動
- 8. まちづくりや地域活性化のための活動
- 9. 生き方等の講演会・研修会
- 10. その他 ()
- 11. 活動したくない

インターネット・スマートフォンの利用について

問 17 あなたは、学校や仕事以外で、携帯電話、インターネットやスマートフォンなどをどの程度使いますか。1日あたりの平均使用時間に近いものを選んでください。(○は1つだけ)

- 1. 30分以内
- 2. 1時間ぐらい
- 3. 2時間ぐらい
- 4. 3時間ぐらい
- 5. 4時間ぐらい
- 6. 5時間ぐらい
- 7. 6時間以上
- 8. 携帯電話やスマートフォンを持っていない

問 18へ

問 17-1 【問 17 で「1」～「7」に○をつけた方のみ】

携帯電話やスマートフォンなどをどのような目的で使っていますか。(○はいくつでも)

- 1. 家族とメールや通話をする
- 2. 友だちとメールや通話をする
- 3. ゲームをする
- 4. 音楽を聴く
- 5. 動画やウェブサイトを見る
- 6. LINE や X (旧 Twitter)、Instagram などのSNSを使う
- 7. 写真を撮る
- 8. スケジュール管理やメモ
- 9. ワンセグ等でテレビを見る
- 10. 仕事の連絡で使う
- 11. その他 ()

問 17-2 【問 17 で「1」～「7」に○をつけた方のみ】

携帯電話やスマートフォンなどでインターネットを利用して、次のようなトラブルにあったことがありますか。(○はいくつでも)

- 1. 身におぼえない料金を請求された
- 2. 知らないうちに会員登録や契約をしてしまった
- 3. インターネットショッピングなどで詐欺にあった (商品が届かない、不良品が届く等)
- 4. オンラインゲームで被害にあった (アイテムが 9. つきまとい、いやがらせなど、現実の犯罪やトナクなくなった、ゲームができない等)
- 5. LINE や X (旧 Twitter)、Instagram、メールなどで、中傷やいやがらせを受けた
- 6. 名前や住所、メールアドレスなど個人情報や写真を勝手に使用された
- 7. 迷惑メール (チェーンメールなど) が頻繁に送られてきた
- 8. コンピュータウイルスに感染した
- 9. つきまとい、いやがらせなど、現実の犯罪やトナブルに巻き込まれた
- 10. その他 ()
- 11. 被害にあったことはない

問 17-3 【問 17-2 で「1」～「10」に○をつけた方のみ】

あなたは、トラブルがあった時、誰かに相談しましたか。(○はいくつでも)

- 1. 家族
- 2. 先生や職場の上司
- 3. 友だちや先輩・後輩
- 4. 公的な相談窓口
- 5. 警察
- 6. ネットの掲示板など
- 7. その他 ()
- 8. 誰にも相談していない

宮代町
若者の生活と意識に関するアンケート調査
報告書

令和6年7月

【編集・発行】

宮代町子育て支援課

〒345-8504 埼玉県南埼玉郡宮代町笠原1-4-1

電話 | 0480-34-1111 (代表)

FAX | 0480-34-7820 (代表)
